

SC-F9450H SC-F9450

操作ガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、
「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社
の登録商標または商標です。

Apple、Mac、OS X、Bonjour および ColorSync は米国お
よびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の
米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Reader は Adobe Systems
Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社
(YouTube, LLC) の商標または登録商標です。

Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国
における商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止し
ます。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付き
の点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い
かねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当
に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によつ
て修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責
任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のもの
をご使用になると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありま
す。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保
証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方	4	作業時のご注意	30
マークの意味	4	毎日の清掃	31
安全に関するマーク	4	定期清掃の仕方	32
一般情報に関する表示	4	インククリーナーの使い方	32
掲載イラスト	4	プリントヘッドの移動	32
動画マニュアルについて	4	プリントヘッド周辺の清掃	33
キャップ周辺の清掃	34		
清掃の終了	37		
各部の名称	5	インクの補充	37
正面	5	インク補充の時期	37
スライダー	5	インク補充時のご注意	37
内部	6	インク補充の手順	38
背面	6		
基本の操作	7	高濃度ブラックインク、蛍光インクのかくはん手順	43
メディア取り扱い時のご注意	7	廃インク処理	45
メディアセット時のご注意	7	準備と交換時期	45
メディアのセット方法	8	廃インクカウンターについて	46
自動巻取りユニットの使い方	14	廃インクボトルの交換	46
正しく巻き取るための注意点	14	ヘッドクリーニングセットの交換	47
紙管の取り付け	15	準備と交換時期	47
内巻きでの巻き取り方	18	ヘッドクリーニングセットの交換方法	48
外巻きでの巻き取り方	20		
セットしたメディアの設定	22	使用済み消耗品の処分	50
巻き取ったメディアの取り外し方	23	廃棄	50
メディア残量の印刷	23		
メディアのカット	23		
メディアの取り外し	25		
メンテナンス	27		
メンテナンスの種類と実施時期	27	メンテナンス用品のご案内	51
清掃箇所と実施時期	27	インクパック	51
消耗品の交換・補充	28	その他	51
定期メンテナンス	28		
その他のメンテナンス	28		
準備するもの	30	インクのボタ落ちやノズル目詰まりの対処方法	53
ヘッドクリーニング	53		
自動ヘッドメンテナンス	54		

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なることがあります。ご了承ください。

動画マニュアルについて

動画マニュアルは YouTube にアップしています。

オンラインマニュアルのトップページから [Epson Video Manuals (動画)] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。

動画マニュアル

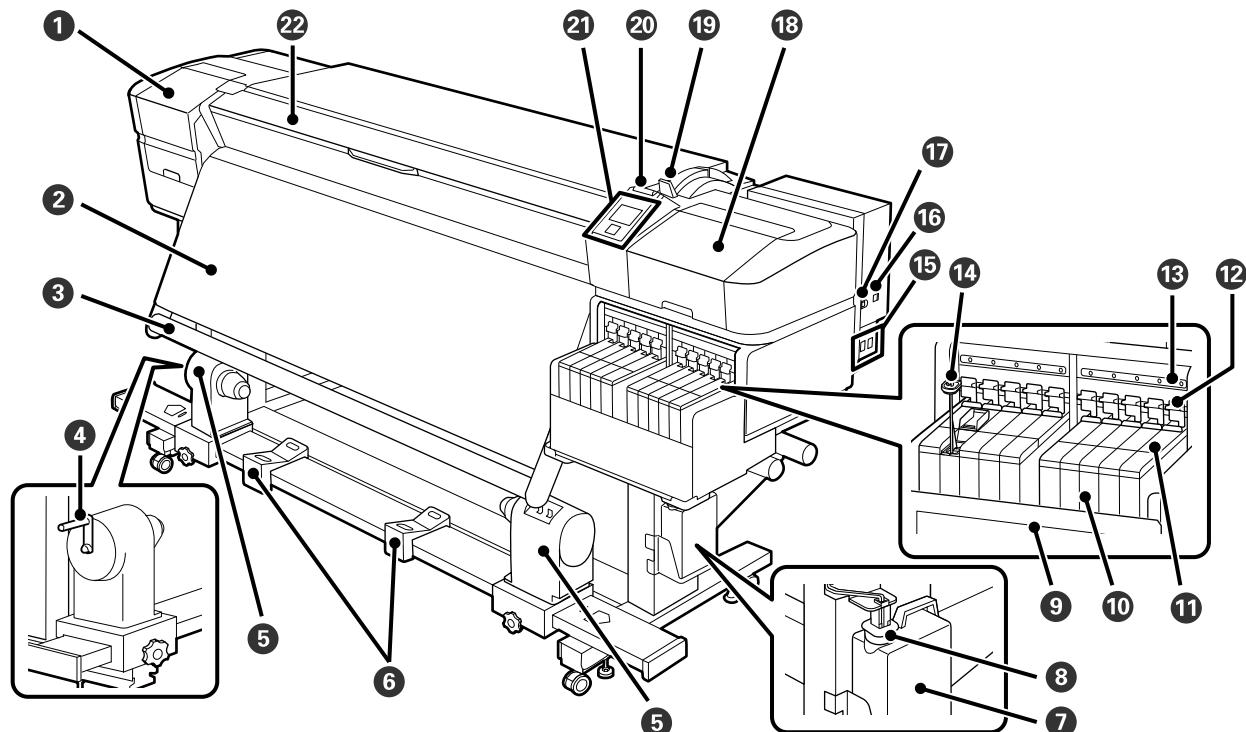
なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



各部の名称

正面

SC-F9450H のイラストで説明します。



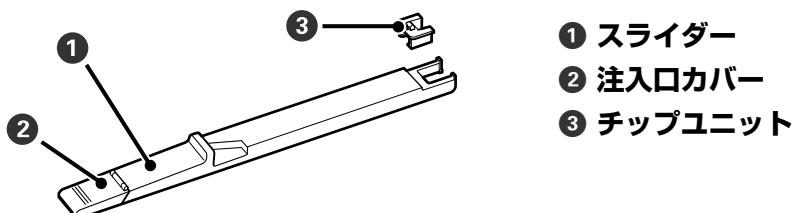
- ① メンテナンスカバー（左）
- ② ヒーター
- ③ メディアガイドバー
- ④ ハンドル
- ⑤ 紙管ホルダー 左/右
- ⑥ ロールサポート（2個）
- ⑦ 廃インクボトル
- ⑧ ストップバー

- ⑨ 遮熱板
- ⑩ インクタンク*
- ⑪ スライダー
- ⑫ ロックレバー
- ⑬ チェックランプ
- ⑭ かくはん棒
- ⑮ 電源コネクター #1/#2
- ⑯ LAN ポート

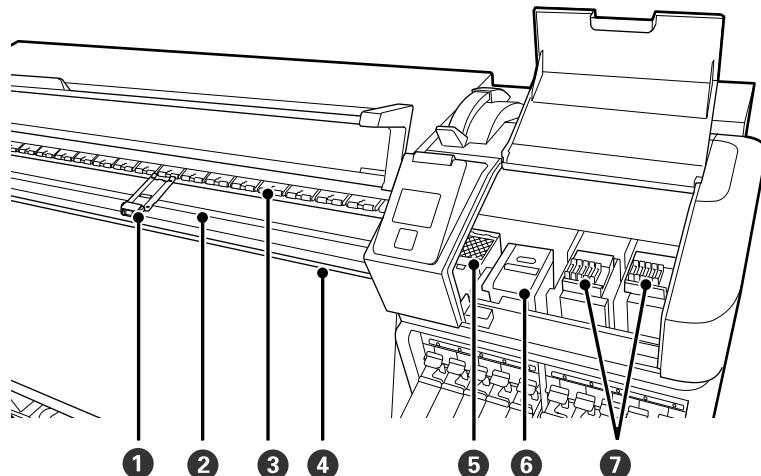
- ⑰ USB ポート
- ⑱ メンテナンスカバー（右）
- ⑲ メディアセットレバー
- ⑳ 大型アラートランプ
- ㉑ 操作パネル
- ㉒ 前面カバー

* SC-F9450 は 8 個です。

スライダー

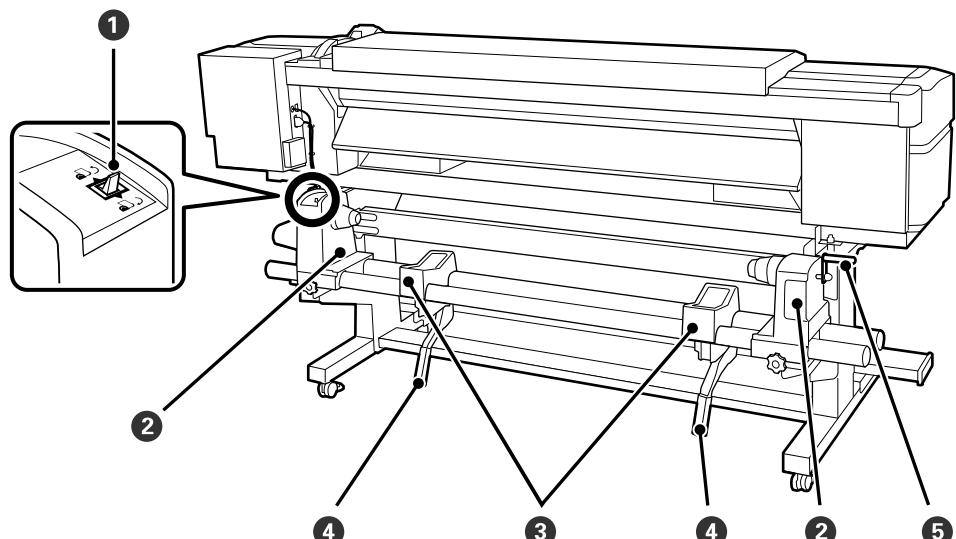


内部



- ① メディア押さえ板（2枚）
② プラテン
③ 加圧ローラー ④ カッター溝
⑤ フラッシング用吸収材
⑥ ワイパユニット
⑦ キャップ

背面



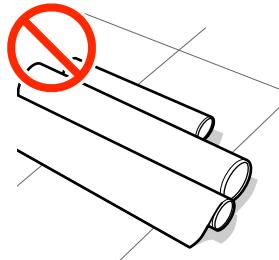
- ① 駆動スイッチ
② ロールホルダー 左/右
③ ロールサポート（2個）
④ リフトレバー
⑤ ハンドル

基本の操作

メディア取り扱い時のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのまま直接メディアを床に置かない。
メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



メディアセット時のご注意

⚠ 注意

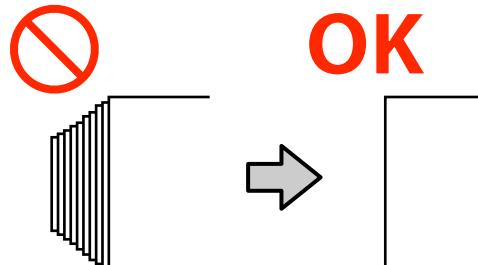
- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1人で運ばないでください。40Kg以上のメディアは、リフターの使用をお勧めします。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



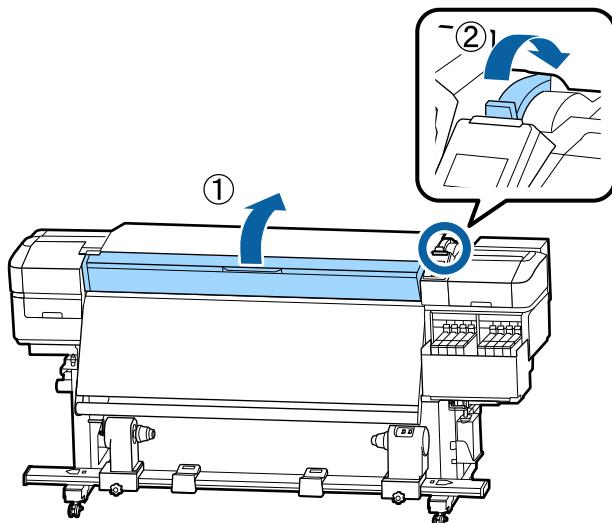
使用できないメディア

折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。印刷時にメディアの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリントヘッドが破損することがあります。

端に折れ、しわのあるメディアの例



- 2 前面カバーを開けてからメディアセットレバーを倒します。

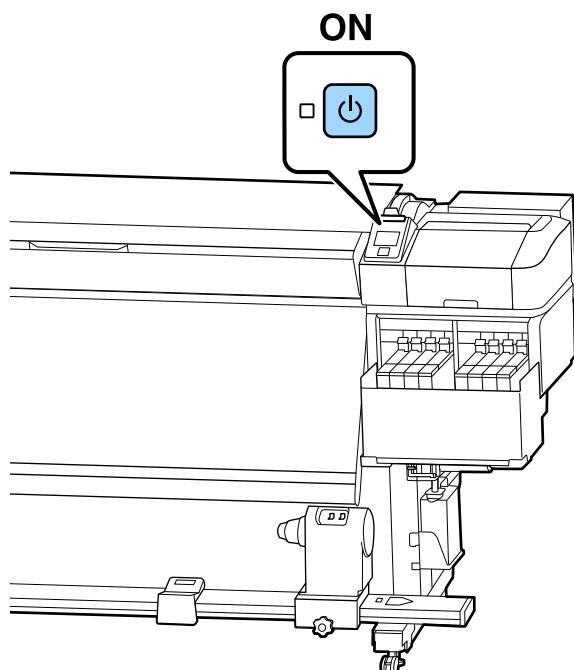


メディアのセット方法

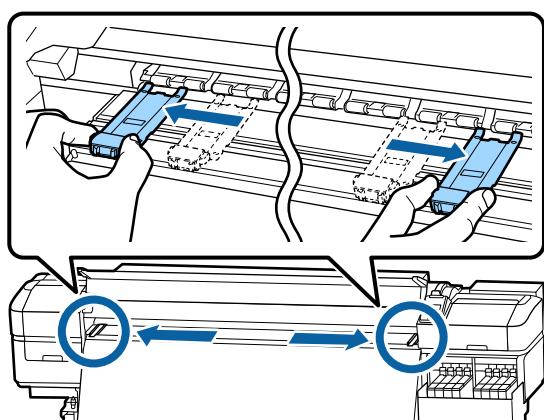
手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

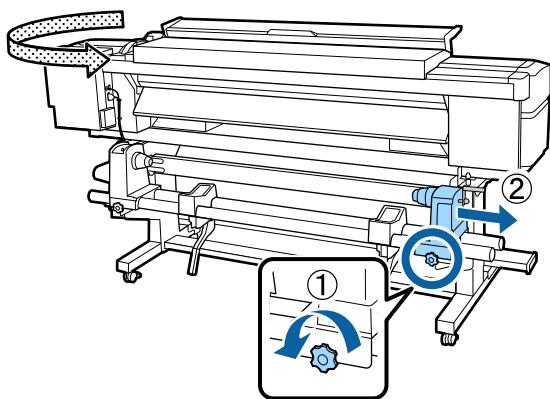
- 1 【□】ボタンを押して、画面に【メディアをセットしてください。】と表示されるまで待ちます。



- 3 メディア押さえ板のツマミを両側から押されたまま、プラテンの左右端へ退避させます。

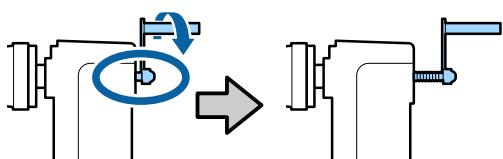


- 4

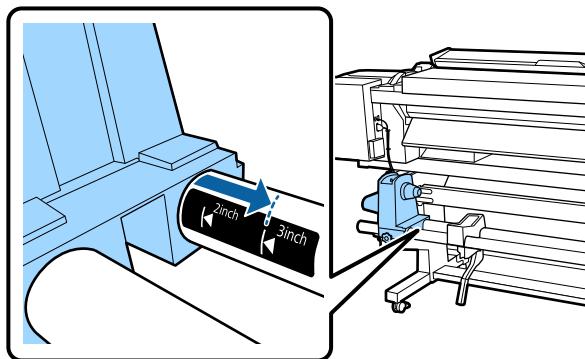


!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。

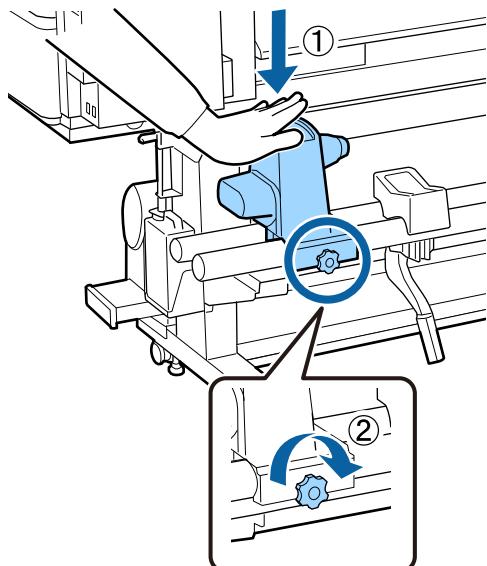
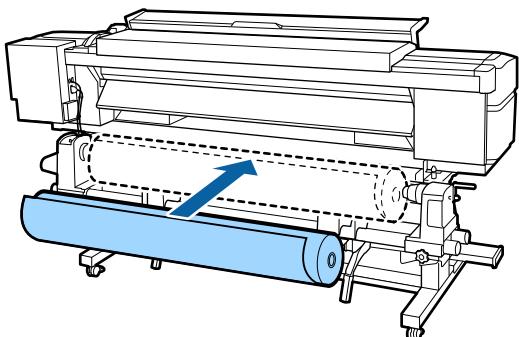


- 5** セットするメディアの紙管の内径に応じて、ロールホルダーをセット位置に移動します。

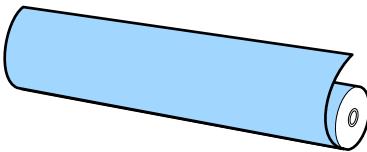
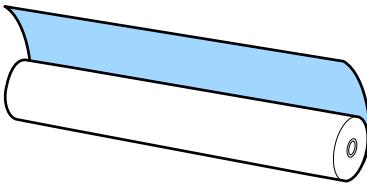
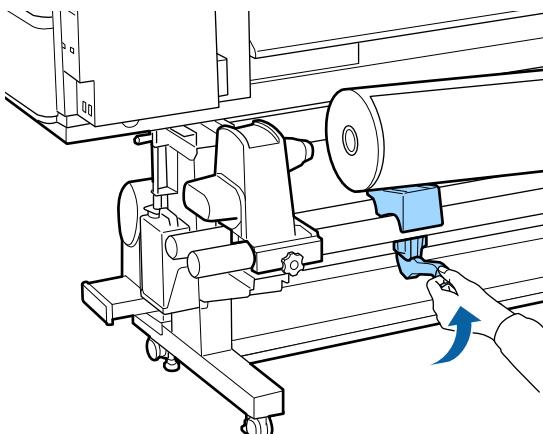


- 6** ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネジを回らなくなるまで締めます。

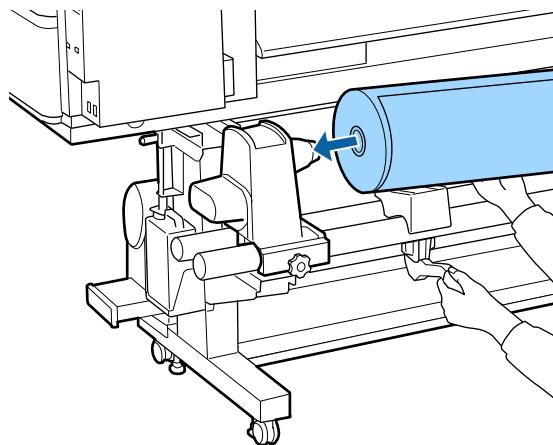
ロールホルダーが動かないように固定してください。

**7****参考**

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

印刷面外巻き**印刷面内巻き****8**

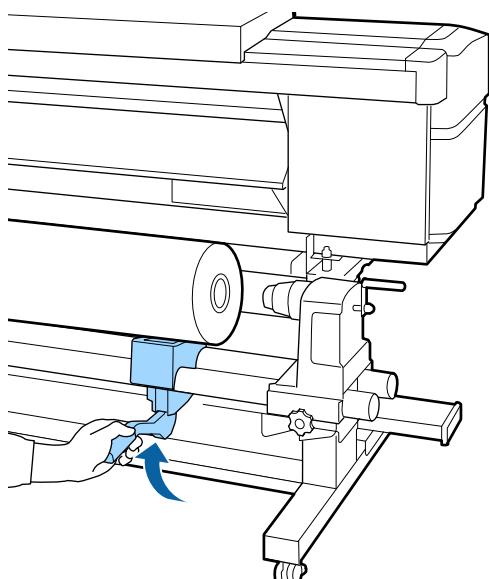
9 メディアの紙管をロールホルダーにしっかりと挿入します。



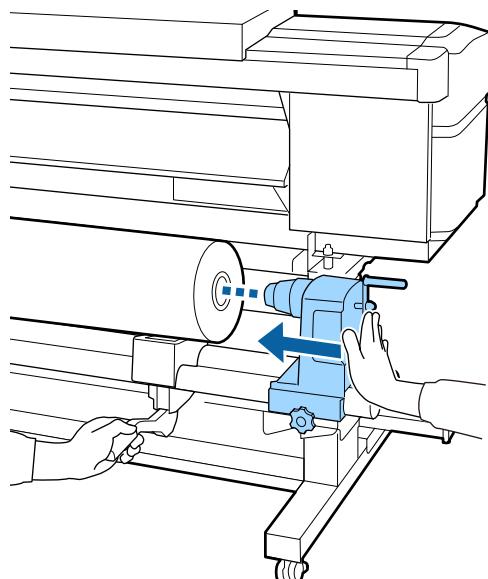
参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

10



11

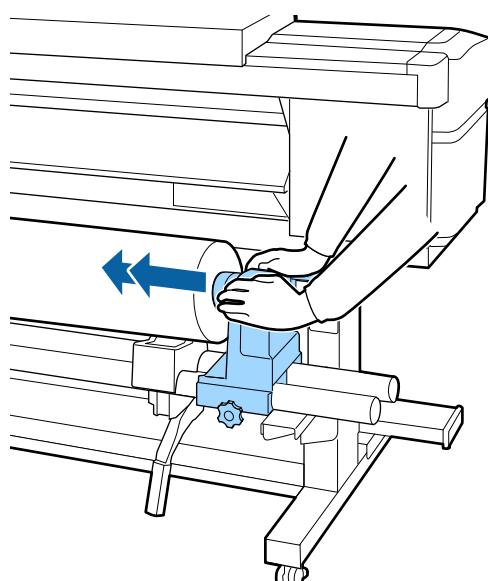


参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

12

ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、
ロールホルダー上部をロール側に 2 回押し付けます。

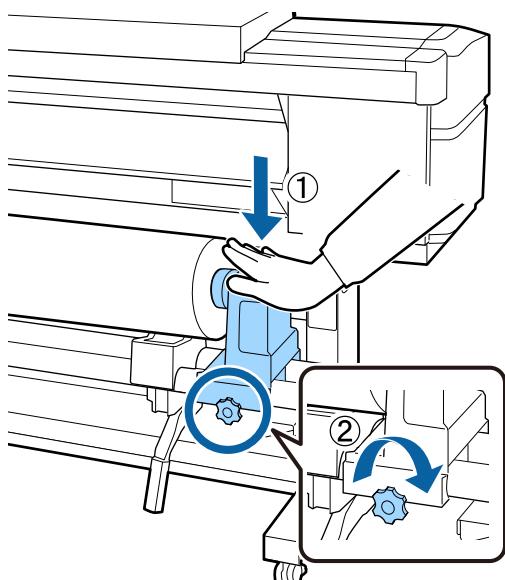


！重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。このため、印刷結果にバンディングが生じことがあります。

- 13** ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネジを回らなくなるまで締めます。

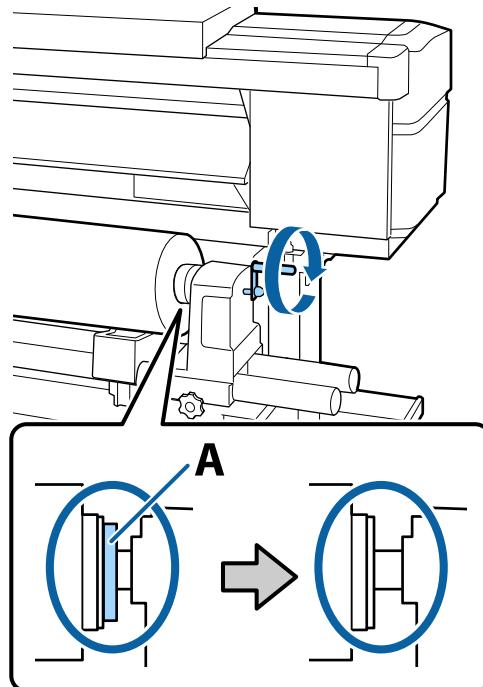
ロールホルダーが動かないように固定してください。

**！重要**

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。

14

以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

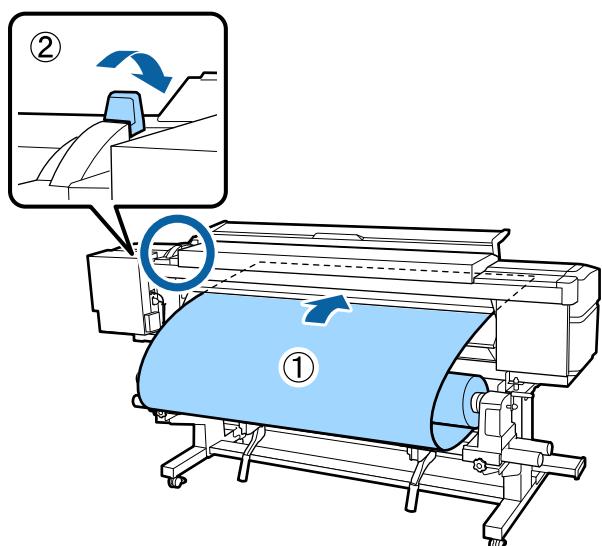
**！重要**

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。

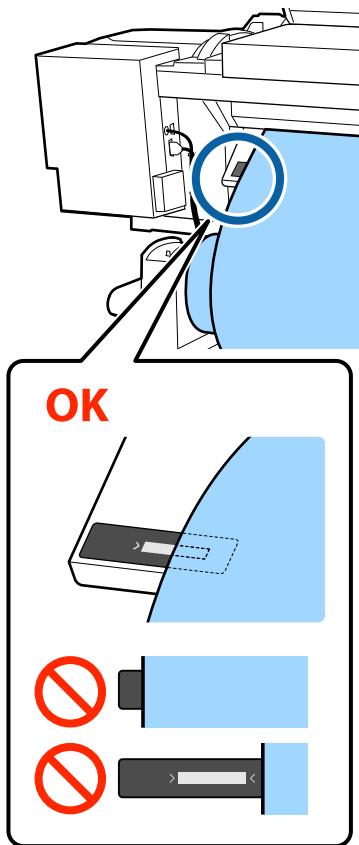
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順 4 からやり直してください。

15

メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディアセットレバーを下げます。



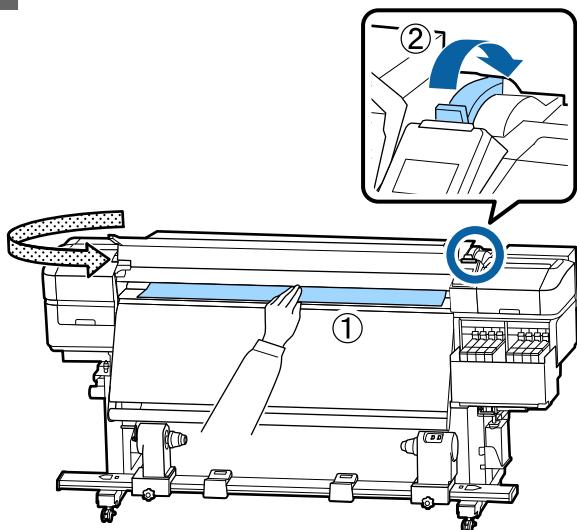
16 メディアの左端が、下図のラベルの四角の範囲内を通っていることを確認します。



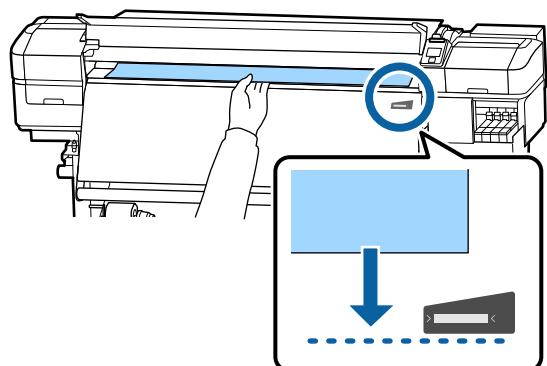
！重要

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 16 から逆順で手順 5 まで戻ってロールホルダーの位置を調整してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

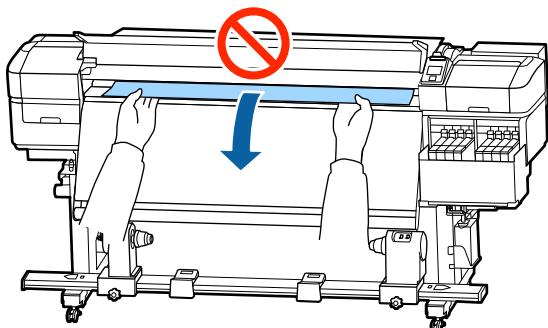
17



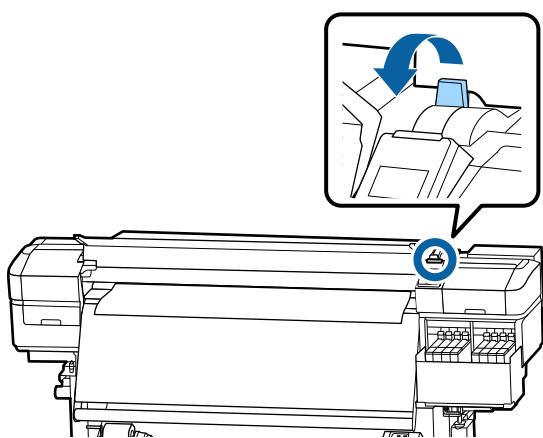
18 メディアの中央を片手で持って、ヒーター上のラベルの下端までまっすぐに引き出します。



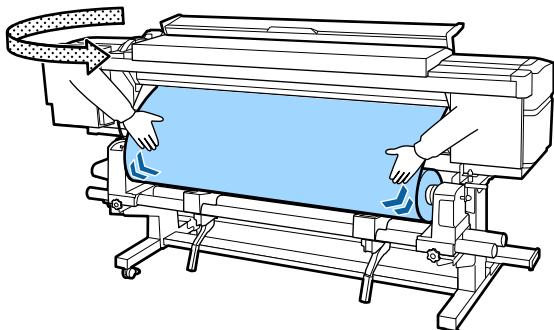
メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。



19



20 メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。



張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付けられています。

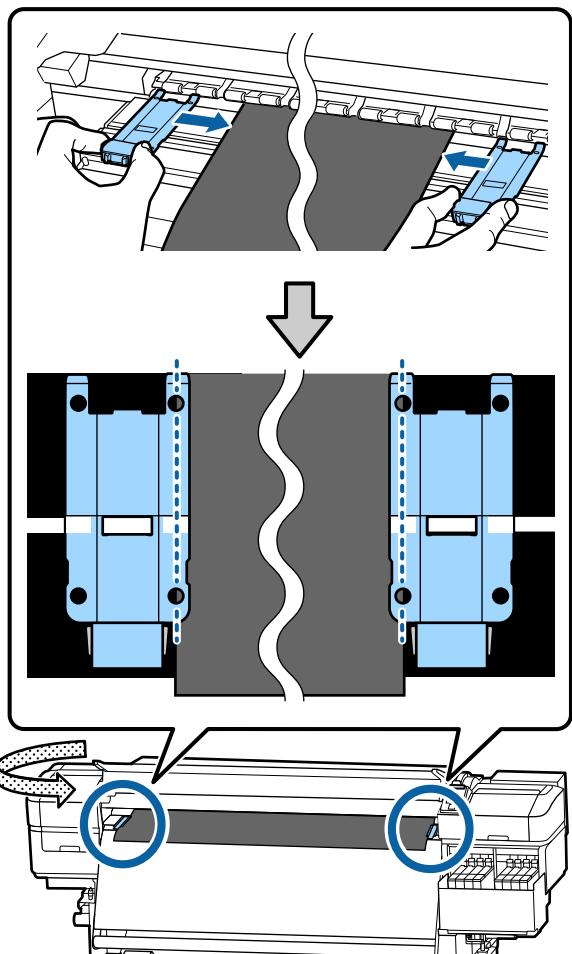
本機正面に回り、メディアセットレバーを上げて、メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを下げます。

21

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。
メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。

メディア押さえ板は、メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。



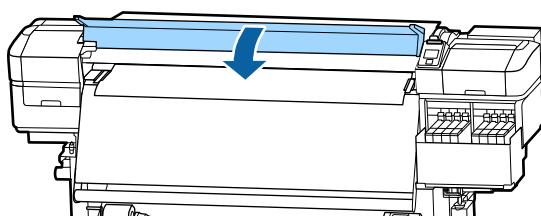
!重要

- ・メディアの厚さが0.4mm以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- ・必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- ・メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- ・印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れるときはメディア押さえ板を使用しないでください。

注意

- ・メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正しく作業してください。
メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。
- ・メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

22



自動巻取りユニットの使い方

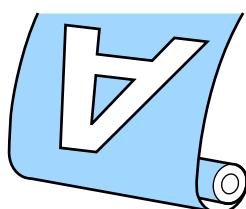
自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。

内巻き



外巻き



内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。通常は、内巻きを推奨します。

外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

正しく巻き取るための注意点

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意してください。

- ・メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。
- ・メディアは、内巻きで巻き取ることをお勧めします。外巻きは、メディアが蛇行して巻きずれが大きくなることがあります。外巻きで正しく巻き取れないときは、内巻きで巻き取ってください。
- ・36インチ未満のメディアは、蛇行して正しく巻き取れないことがあります。
- ・下図のような巻き取り紙管は取り付けないでください。
巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。

端が削れている





紙管の取り付け

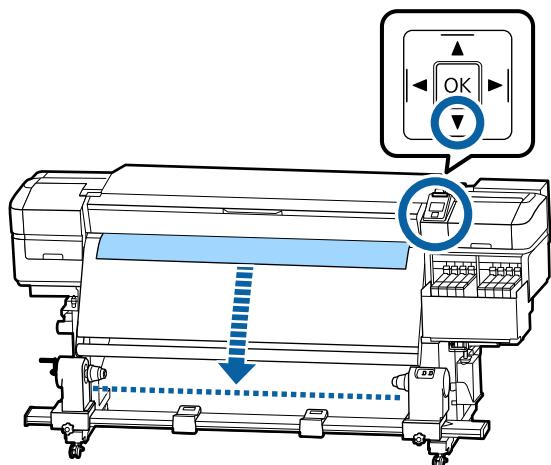
準備

メディアと同じ幅の巻き取り紙管を用意する。

市販の粘着テープを用意する。

取り付け方

- 1 メディアが正しくセットされていることを確認し、メディアの先端が紙管ホルダーに届くまで、【▼】ボタンを押し続けます。

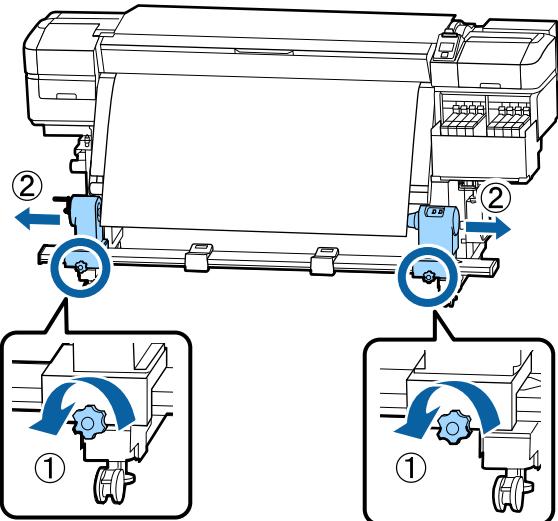


!重要

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して送り出してください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

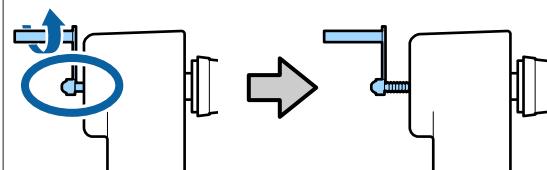
- 2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、均等になるように移動します。

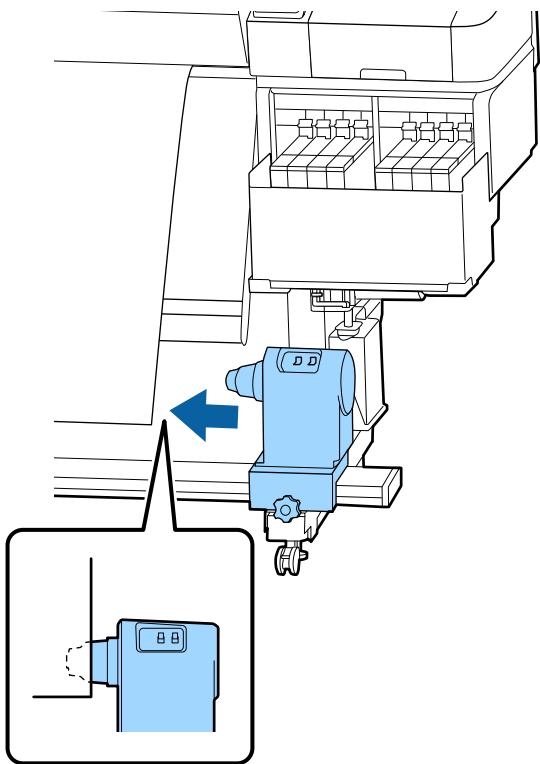


!重要

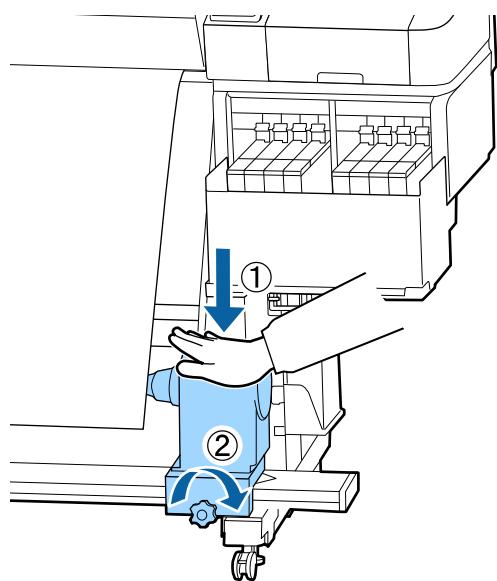
左側の紙管ホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回します。ハンドルの軸が見えていないと、紙管を正しく取り付けられません。



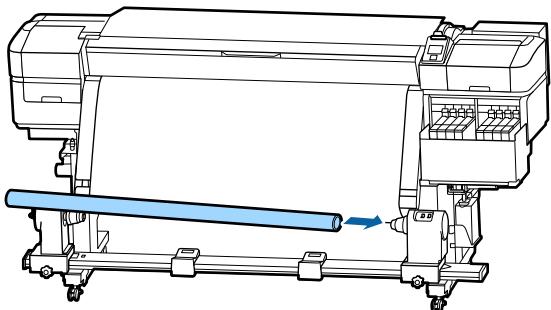
- 3 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移動します。



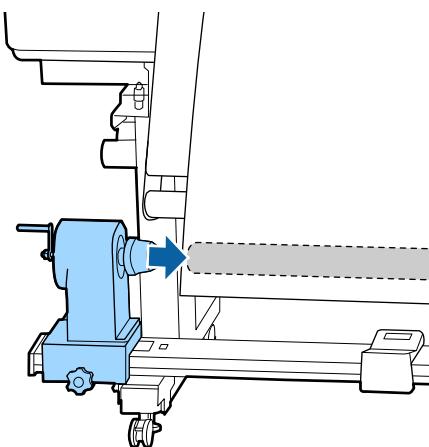
- 4 紙管ホルダーを上から押しつけたまま固定ネジを締めて固定します。



- 5 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



- 6 左側の紙管ホルダーを紙管にしっかりと差し込み、紙管とメディアの端がずれていないことを確認します。

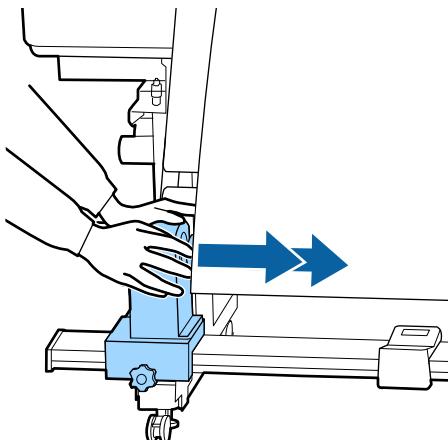


！重要

メディアの端がずれていますと、メディアを正しく巻き取れません。ずれているときは、右側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、手順 3 からやり直してください。

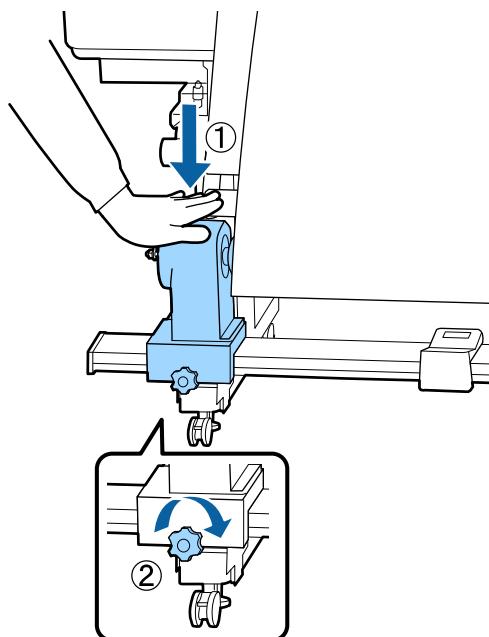
7 紙管ホルダーを十分に差し込むために、紙管ホルダー上部をロール側に**2回**押しつけます。

紙管とメディアの端がすれていなことを確認します。

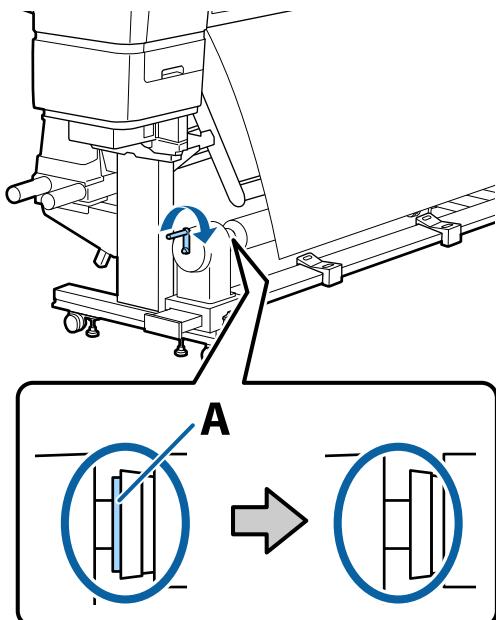


8 左側の紙管ホルダーを上から押し付けたまま固定ネジを締めます。

紙管ホルダーが動かないように固定してください。



9 以下の図の**A**の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。

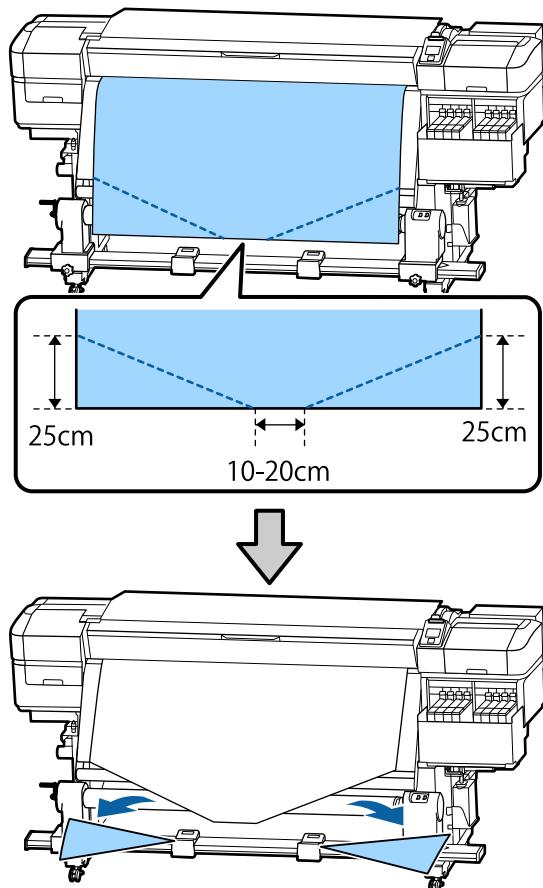


！重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎると、紙管ホルダーが破損するおそれがあります。
ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、紙管ホルダーがしっかりと差し込まれていない可能性があります。手順 6 からやり直してください。

10 メディアの中央を **10~20cm** 残して、左右とも高さ **25cm** 以上になるように角をカットします。

カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具合を防げます。



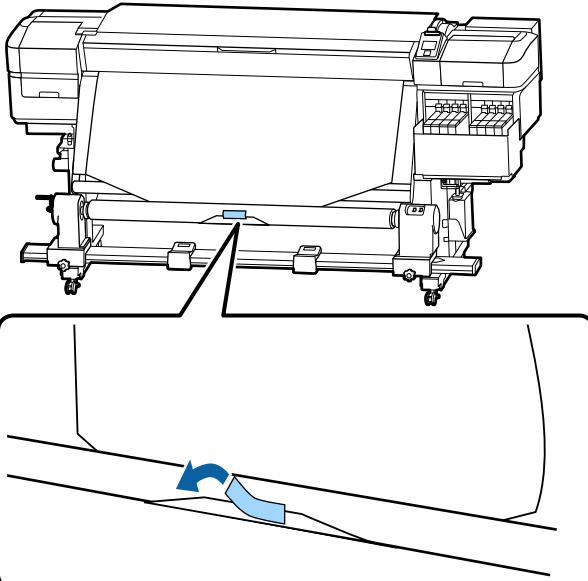
続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。

内巻きで巻き取るとき ↗ 「内巻きでの巻き取り方」 18
ページ

外巻きで巻き取るとき ↗ 「外巻きでの巻き取り方」 20
ページ

内巻きでの巻き取り方

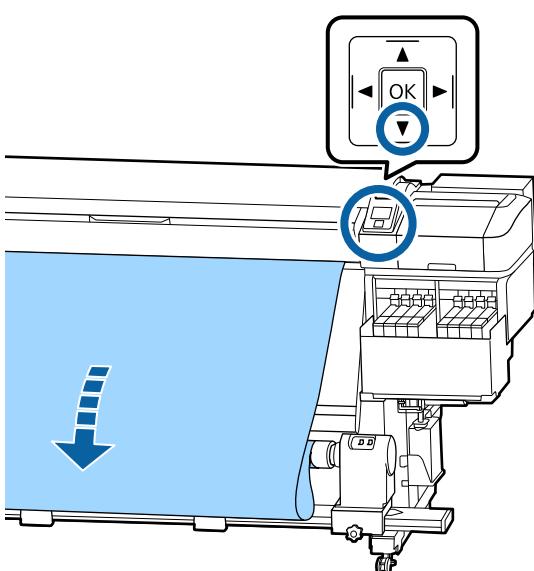
- 1** メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



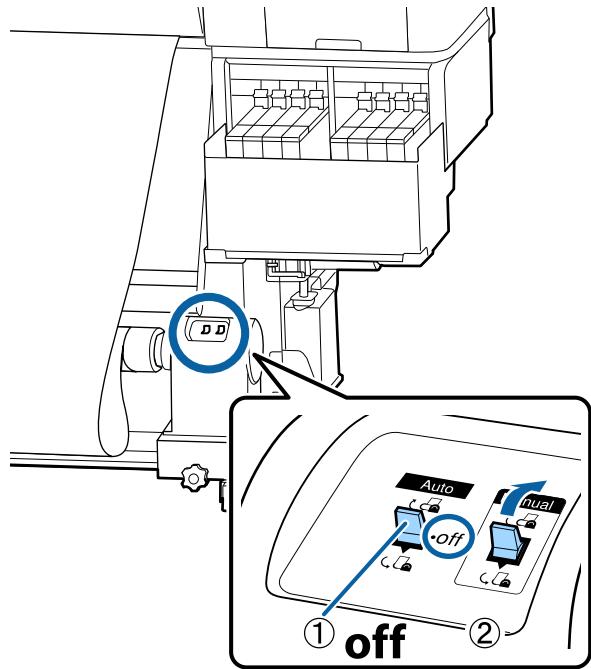
！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

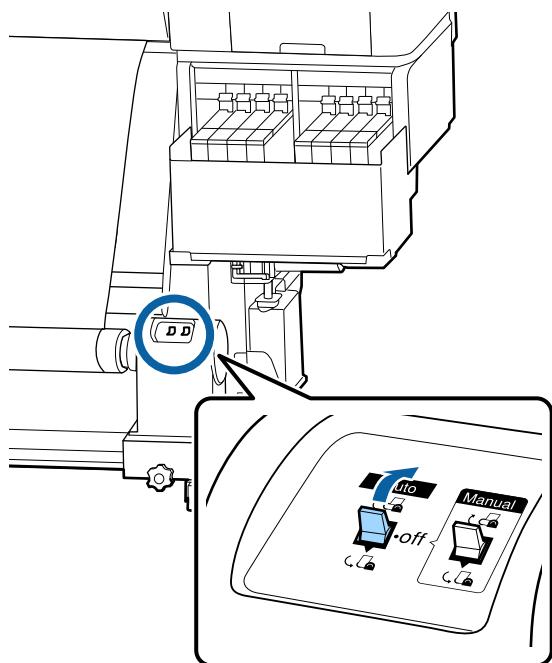
- 2** 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 **1周分程度** メディアを送り出します。



- 3 Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを  側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。

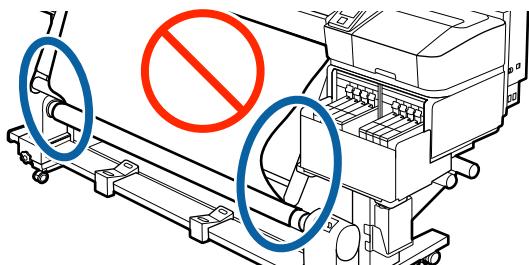


- 4 Auto スイッチを  にセットします。



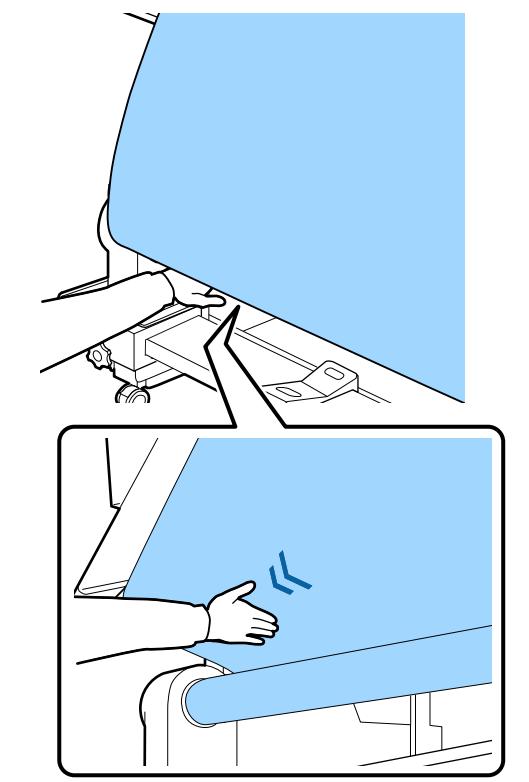
- 5 メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。

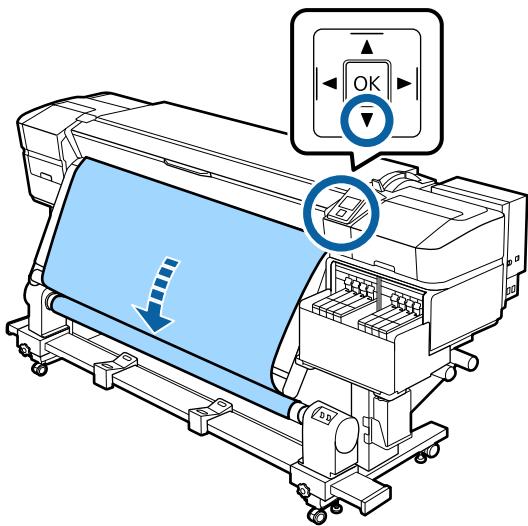


参考

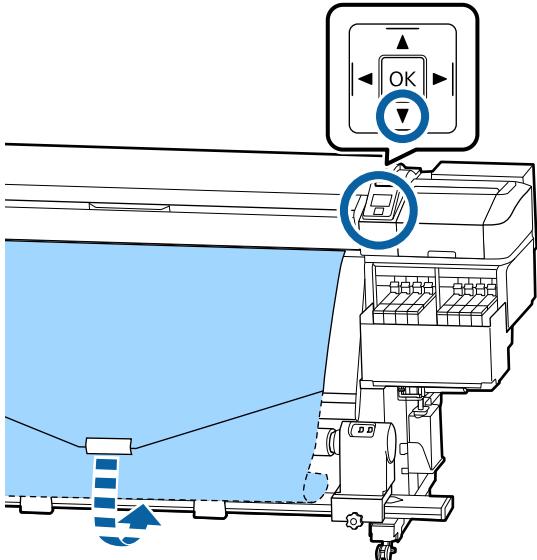
下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。



- 6** メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。

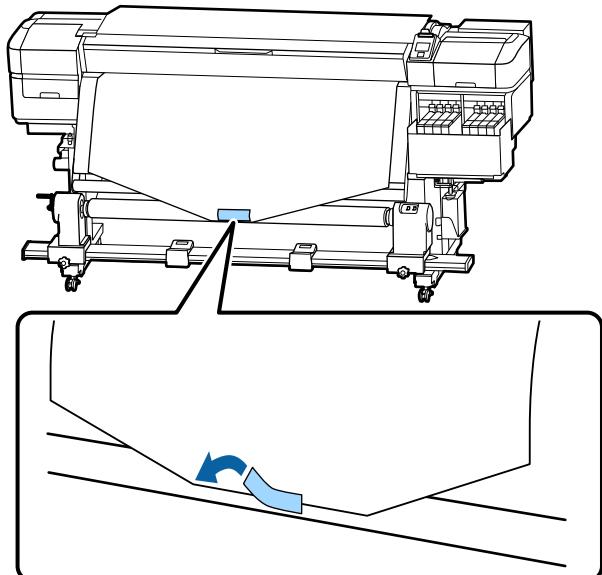


- 2** 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



外巻きでの巻き取り方

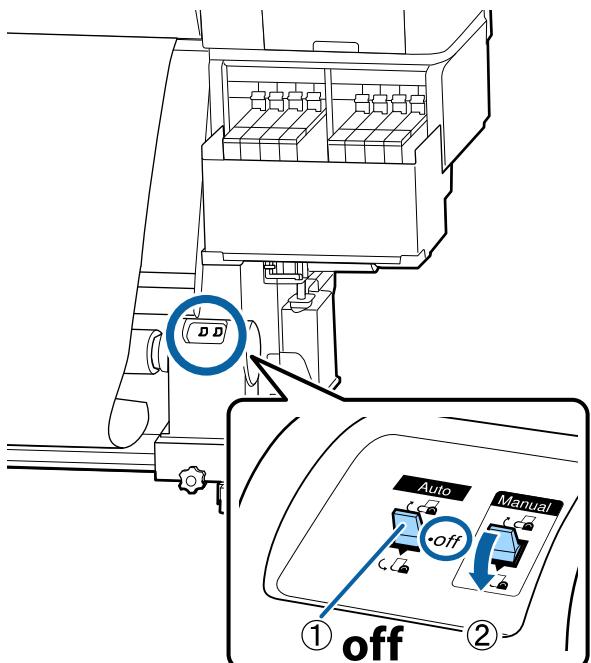
- 1** メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら、市販の粘着テープで巻き取り紙管に貼り付けています。

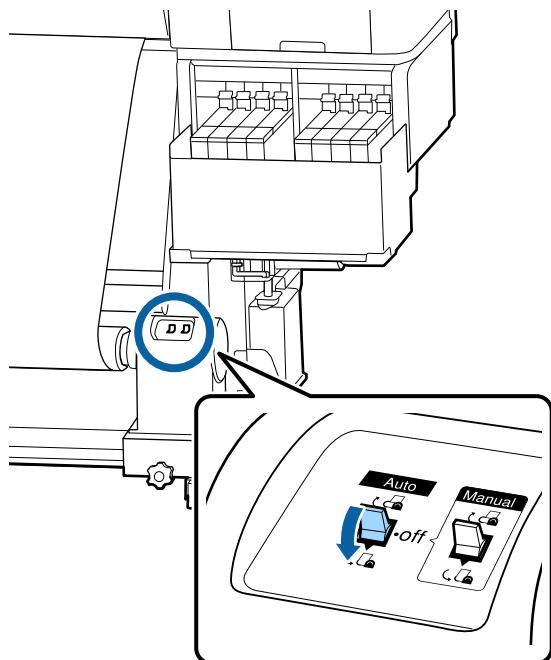


!重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

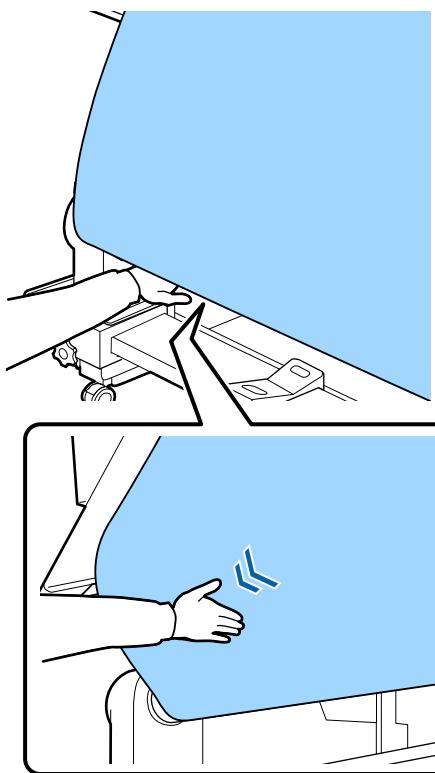
- 3** Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。



4 Auto スイッチを  にセットします。

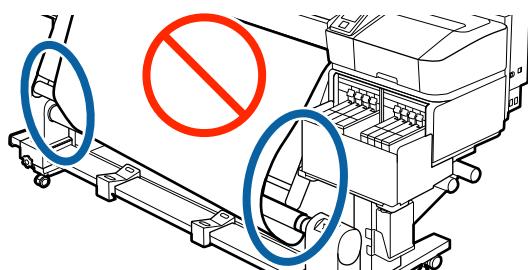
参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。

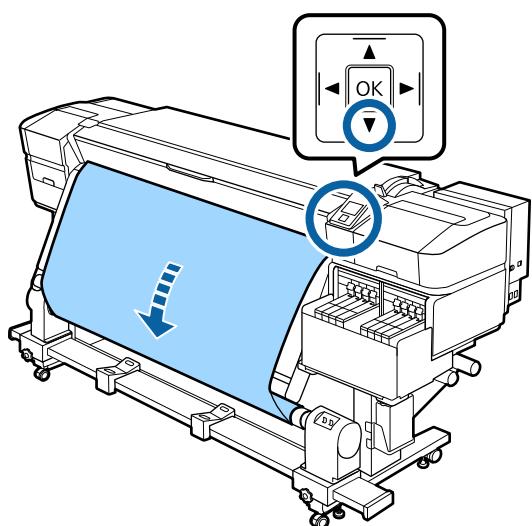


5 メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。



6 メディアが 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行います。

1. メディア設定番号の選択

印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択します。



2. ロール巻き仕様選択

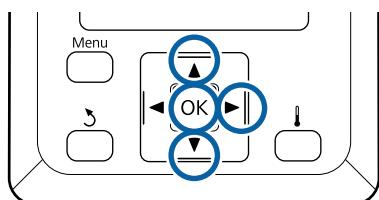
セットしたメディアロールの巻き仕様を選択します。



3. メディア長さを設定

セットしたメディアの長さを設定します。

以下の設定で使用するボタン



- 1 【▼】 / 【▲】ボタンを押して、セットしたメディアの印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

メディア選択	
<input checked="" type="checkbox"/>	1
<input type="checkbox"/>	2
<input type="checkbox"/>	3
<input type="checkbox"/>	4
<input type="checkbox"/>	5
OK 決定	

新規のメディアで、まだメディア設定がされていないときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの給紙完了後に簡単メディア設定を実施してください。

メディア設定の方法 ↗『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

- 2 【▼】 / 【▲】ボタンを押して、セットしたロールの巻き仕様を選択し、【OK】ボタンを押します。

ロール巻き仕様設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷面外巻き
<input type="checkbox"/>	印刷面内巻き
▼	
OK 決定	戻る

- 3 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。
【▼】 / 【▲】ボタンを押してメディアの全長を**1.0 ~ 600.0m**の範囲で設定し、【OK】ボタンを押します。

メディア長さ設定	
▲	120.0 m
▼	
範囲: OFF, 1.0 - 600.0 m	
現在値: 120.0 m	
OK 決定	OFF

メディア残量が印刷されているときは、その値を設定します。

【▶】ボタンを押すと OFF を選択できます。OFF を選択すると、残量管理は行われません。

参考

残量管理設定-ON で有効になる 2 つの機能

以下の 2 つの機能で、印刷前におおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

- ・メディア残量の表示
設定したメディアの長さと印刷で使用した量からおおよそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面に残量値を表示します。
- ・メディア残量警告
設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

しばらくして画面に印刷可能と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

巻き取ったメディアの取り外し方

メディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてください。

1. メディア残量を印刷する。(メディア残量管理 ON 時)



2. メディアをカットする。



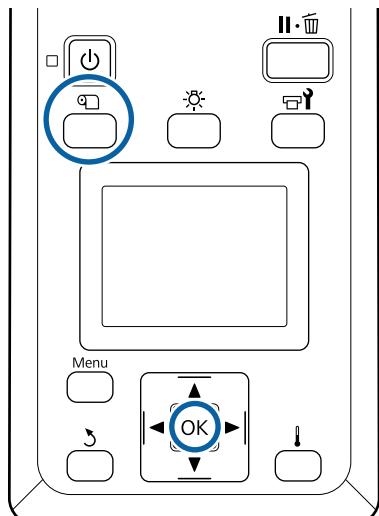
3. メディアを取り外す。

メディア残量の印刷

取り外すメディアの残りの長さを印刷しておき、次回このメディアをセットするときに印刷を見てメディア長さを入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。[残量管理設定] を [OFF] にしているときには残量印刷はできません。

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認します。

2 【□】ボタンを押し、【メディア残量管理】を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【メディア残量印刷】を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

メディアのカット

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

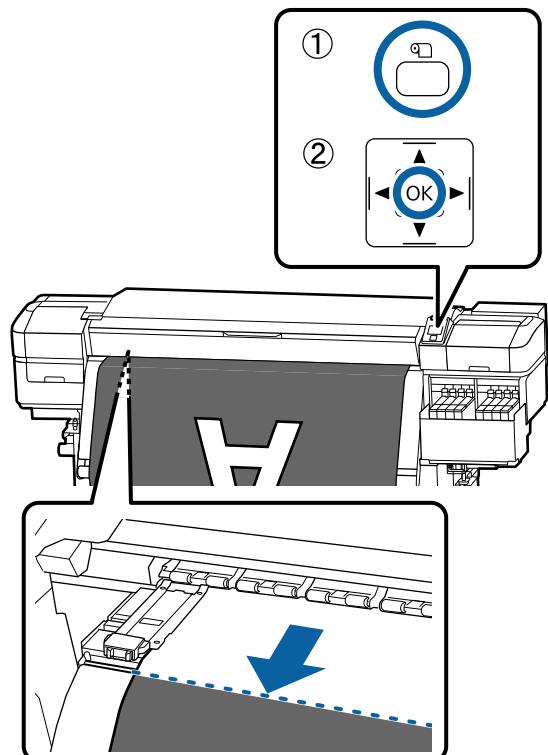
[動画マニュアル](#)

⚠ 注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

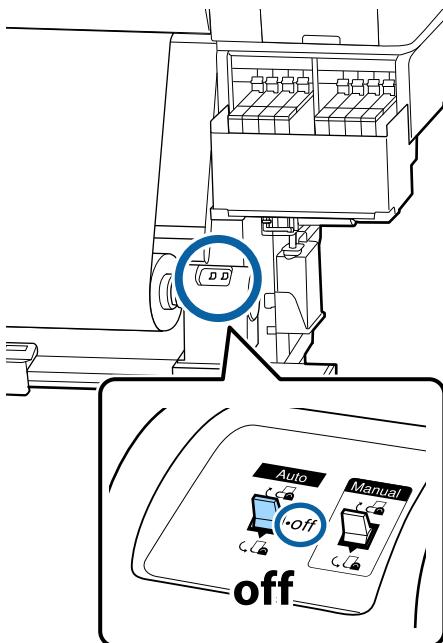
- 1** 【□】ボタンを押して【カット位置まで送る】を選択し、【OK】ボタンを押します。

印刷終端がカット位置（カッター溝）まで送られます。



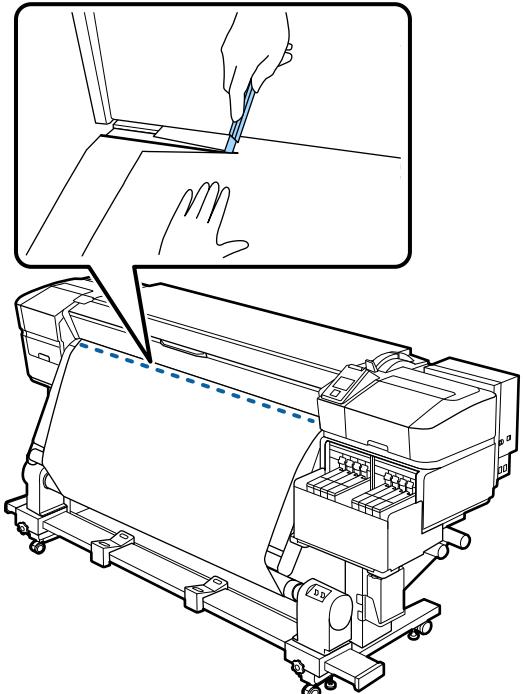
メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷部分が未印刷のロール側に残るように、【▲】ボタンを押してカッター溝より向こう側に戻します。

- 2** Auto スイッチを Off にします。



- 3** カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター溝の側面にしっかりと沿うように移動させます。

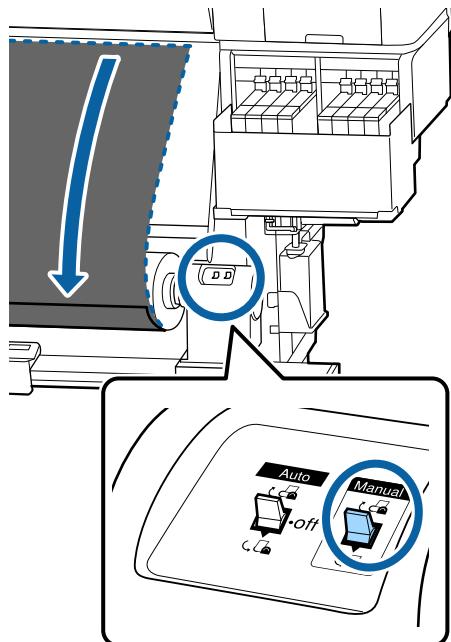
手が前面カバーに当たり、うまく作業ができないときは前面カバーを開けてカットしてください。



！重要

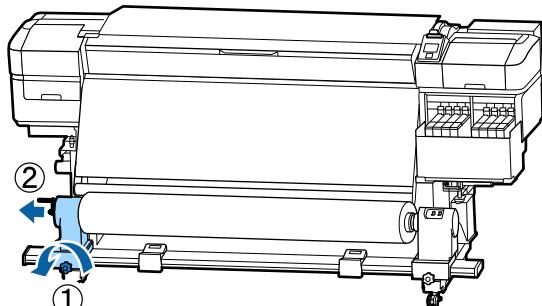
メディアをカットしたときは、メディアが前面カバーの内側で盛り上がったり、メディア押さえ板から外れたりしていないことを確認してから印刷してください。

- 4** 巻き取りの巻き仕様に応じて **Manual** スイッチを操作して、切り離したメディアを最後まで巻き取ります。

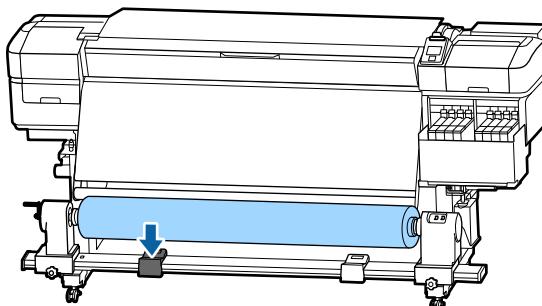


- 2** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

- 3** 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。



- 4** ロールをロールサポート上に降ろします。

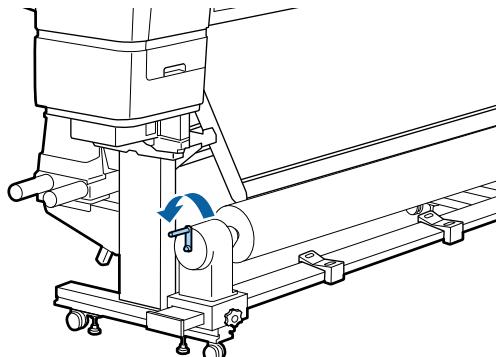


メディアの取り外し

⚠ 注意

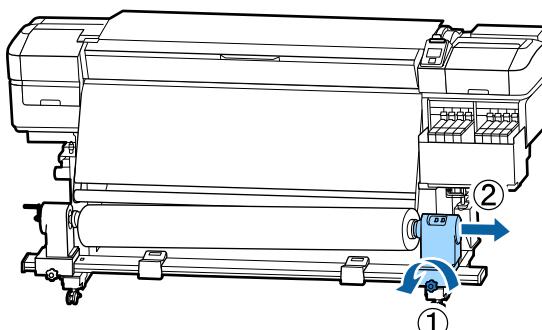
- ・巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2人以上で行ってください。
- ・メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するところがあります。

- 1** 左側の紙管ホルダーのハンドルを回します。

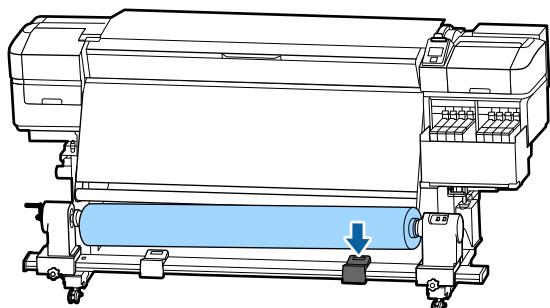


- 5** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

- 6** 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。



- 7 ロールをロールサポート上に降ろします。



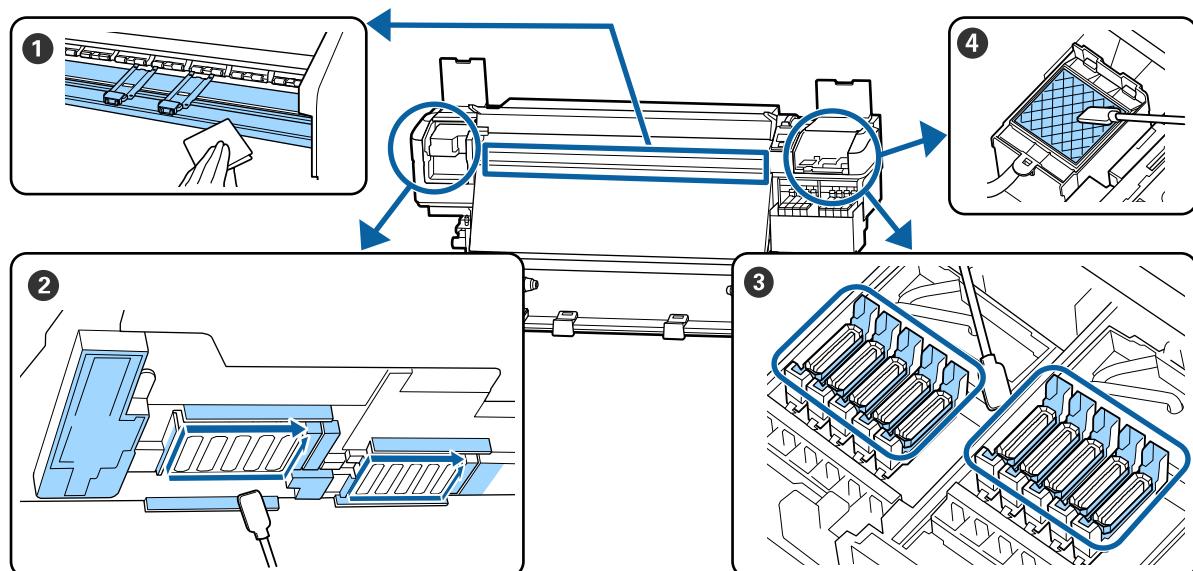
- 8 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。



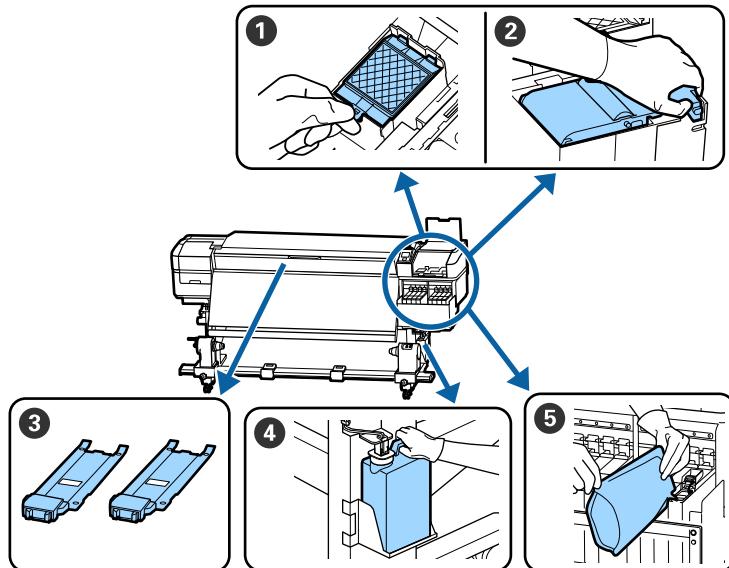
実施時期	清掃箇所
毎日の作業開始時	① プラテン・メディア押さえ板 「毎日の清掃」31 ページ
1 カ月に 1 回以上	② プリントヘッド周辺 ③ キャップ ④ フラッシング用吸収材（汚れているとき） 「定期清掃の仕方」32 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル

！重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。

使用環境や使用メディアによっては、1週間に1回にするなど、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の交換・補充



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	① フラッシング用吸収材 ② ワイバーユニット 「ヘッドクリーニングセットの交換」47 ページ ④ 廃インクボトル 「廃インク処理」45 ページ
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示されたら、できるだけ早く	⑤ インクの補充 「インクの補充」37 ページ
変形したり破損したりしたとき	③ メディア押さえ板 『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

定期メンテナンス

実施時期	実施事項
1週間に1度	高濃度ブラックインク、蛍光インクのかくはん 「高濃度ブラックインク、蛍光インクのかくはん手順」43 ページ

その他のメンテナンス

下表の各メンテナンスの詳細は、『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)をご覧ください。

実施時期	実施事項
<ul style="list-style-type: none"> ノズルが目詰まりしているか確認したいとき 目詰まりしている色を確認したいとき 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき 	ノズルの目詰まりチェック
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき	ヘッドクリーニング

メンテナンス

実施時期	実施事項
遮熱板の汚れでインクタンク内部が見えにくくなったと感じたとき	遮熱板の清掃
操作パネルの画面に注油を促すメッセージが表示されたとき	キャリッジ軸に付属のグリスを塗る

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

[「メンテナンス用品のご案内」51 ページ](#)

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

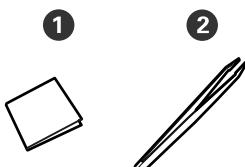
マスク（市販品）

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

メンテナンス用品一式（本製品付属）

清掃全般で使用します。

以下の付属品がセットで入っています。



① クリーンルーム用ワイパー（100枚）

② ピンセット（1個）

メンテナンスキット（本製品付属）

インク汚れを拭き取るときに使います。

以下の付属品がセットで入っています。



① インククリーナー（1個）

② カップ（1個）

③ 手袋（12枚）

④ クリーニング棒（25本）

使い方 [「インククリーナーの使い方」32 ページ](#)

金属トレイ（本製品付属）



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したインククリーナーを置くのに使います。

柔らかい布（市販品）

前面カバー内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお使いください。

作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってください。

⚠ 注意

- ・インクパック、インククリーナー、グリス、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- ・メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
インクや廃インク、インククリーナー、グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - ・皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 - ・目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
 - ・口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - ・飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあります。
 - ・インクは飲まないでください。

- ・清掃、ヘッドクリーニングセット交換時は、本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- ・清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- ・クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- ・クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- ・クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。

- プリントヘッド周辺やキャップ周辺などの清掃には、指定のインククリーナー以外は使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

毎日の清掃

プラテン上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。
きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前に清掃することをお勧めします。

⚠ 注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

! 重要

プラテン、メディア押さえ板の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

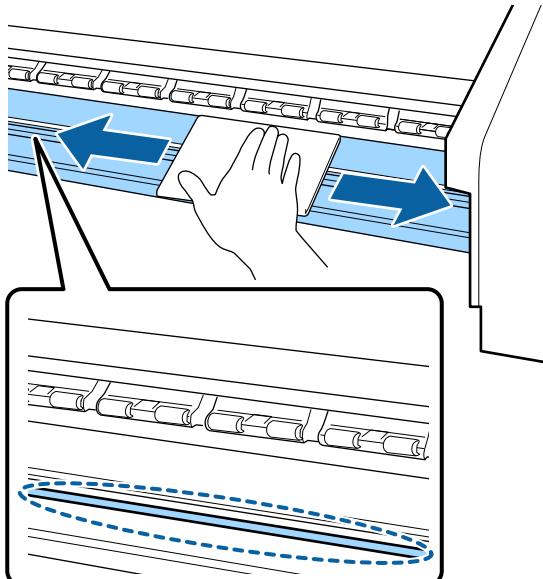
電源プラグは 2 つとも抜きます。

2 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。

3 前面カバーを開けます。

4 水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



5 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

! 重要

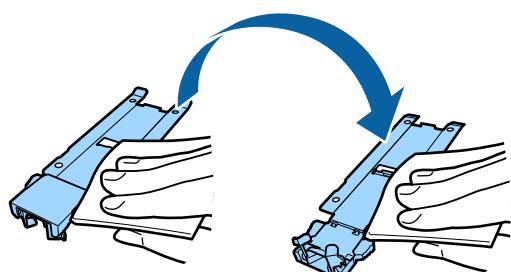
のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 ↗
『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)



定期清掃の仕方

定期清掃は、以下の順番で行います。

プリントヘッドの移動



プリントヘッド周辺の清掃



キャップ周辺の清掃

！重要

1 カ月間清掃をしていないと、操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかに定期清掃を行ってください。

[マニュアルをご覧になり定期清掃を行ってください。]

手順は YouTube から動画をご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

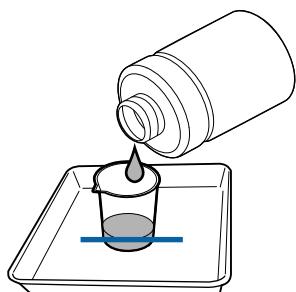
インククリーナーの使い方

インククリーナーは、マニュアルで指示した清掃箇所に限り使用してください。部品が傷つくため、指示のない箇所ではインククリーナーを使わないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[「作業時のご注意」30 ページ](#)

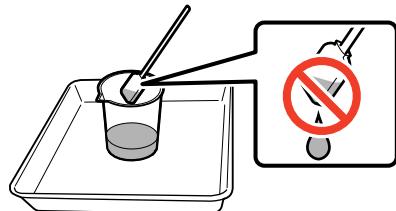
- 1 インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載せてインククリーナーを約 **10ml** 注ぎます。



2

クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませるときも、容器に注いだインククリーナーを使用してください。

！重要

- ・清掃に使ったインククリーナーを次回清掃時に使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
- ・インククリーナーは、蓋をしっかりと閉めて高温多湿、直射日光を避けて常温で保管してください。
- ・使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。

[「使用済み消耗品の処分」50 ページ](#)

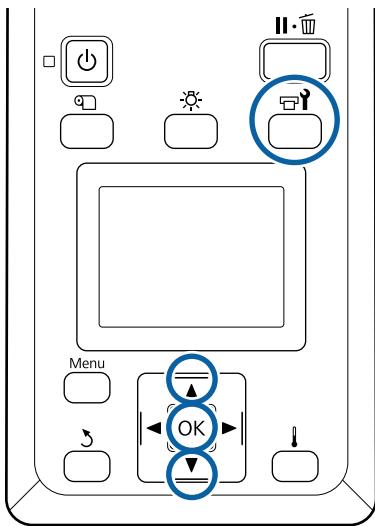
プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

！重要

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。【OK】ボタンを押して清掃を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

⚠ ご確認

メンテナンス作業開始から
10分経過しました。
作業終了後にクリーニングを行ってください。

OK 閉じる

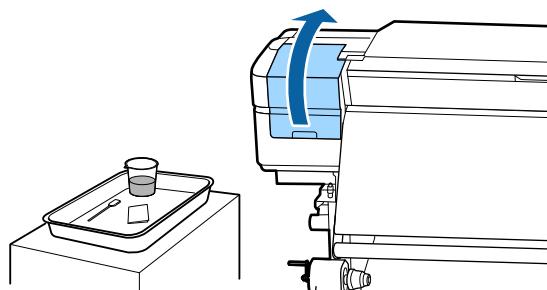
プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃をしてください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 30 ページ

- 1 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、左側のメンテナンスカバーを開けます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

☞ 「インククリーナーの使い方」 32 ページ

- 1 以下のステータス画面が表示されていることを確認し、【】ボタンを押します。



メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】ボタンを押して【ヘッドメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 3 【▼】 / 【▲】ボタンを押して【定期清掃】を選択し、【OK】ボタンを2回押します。

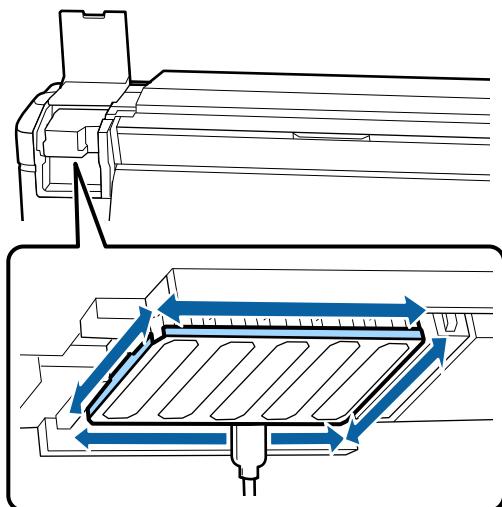
プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

!重要

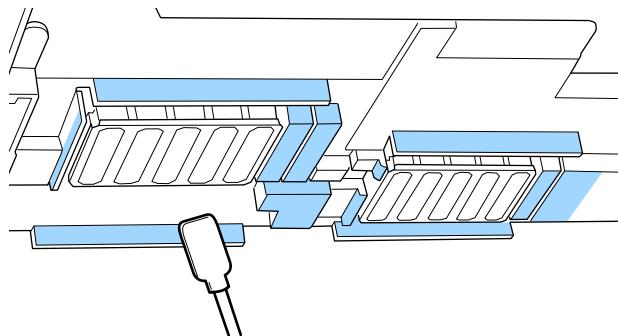
- クリーニング棒は、1手順ごとにインククリーナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってください。

3 矢印部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

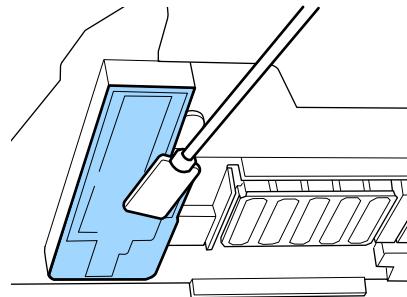
両方のプリントヘッド周辺を拭き取ります。



4 図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

**5**

図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

**6**

左側のメンテナンスカバーを開めます。

キャップ周辺の清掃

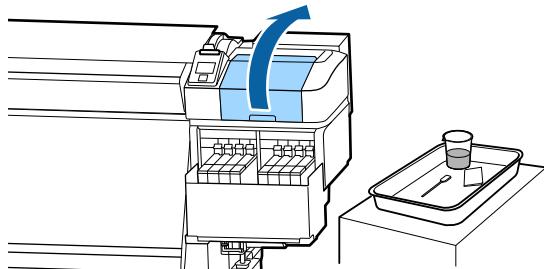
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 30 ページ

キャップの清掃

1

右側のメンテナンスカバーを開けます。

**2**

クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

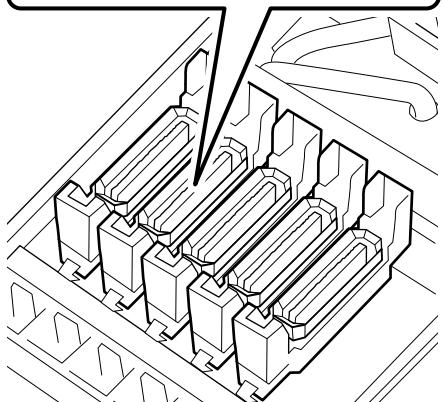
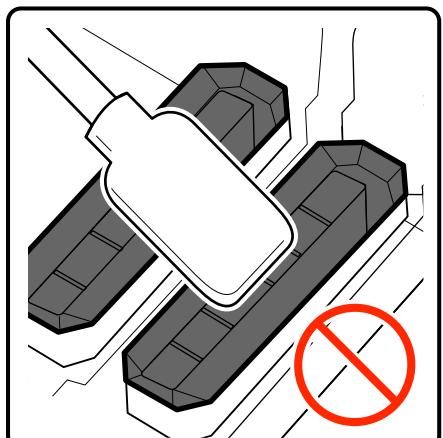
☞ 「インククリーナーの使い方」 32 ページ

3 クリーニング棒を平らにして、全てのキャップのフチを拭き取ります。

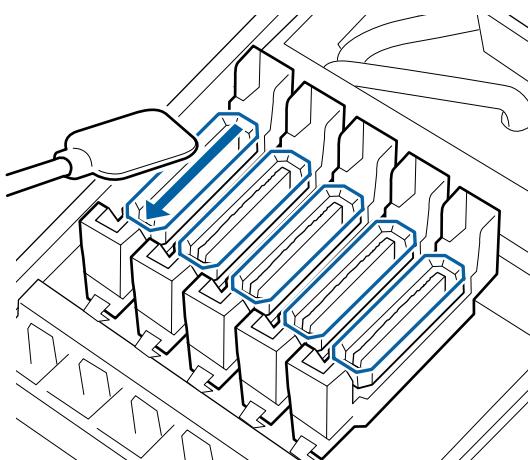
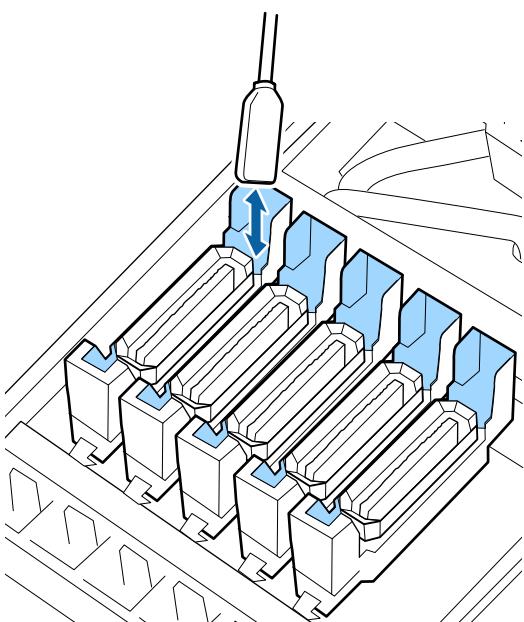
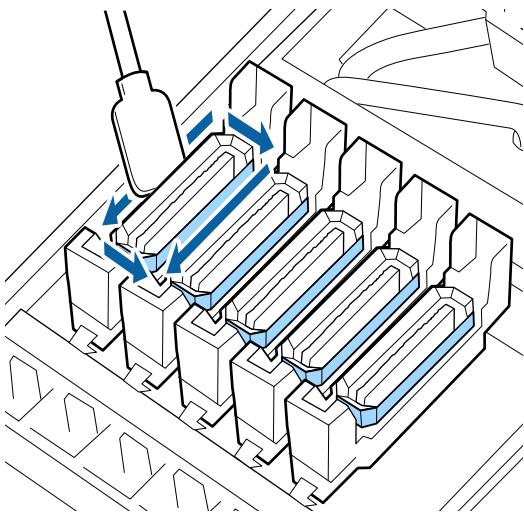
キャップは2ブロックあります。全てのキャップを清掃してください。

!重要

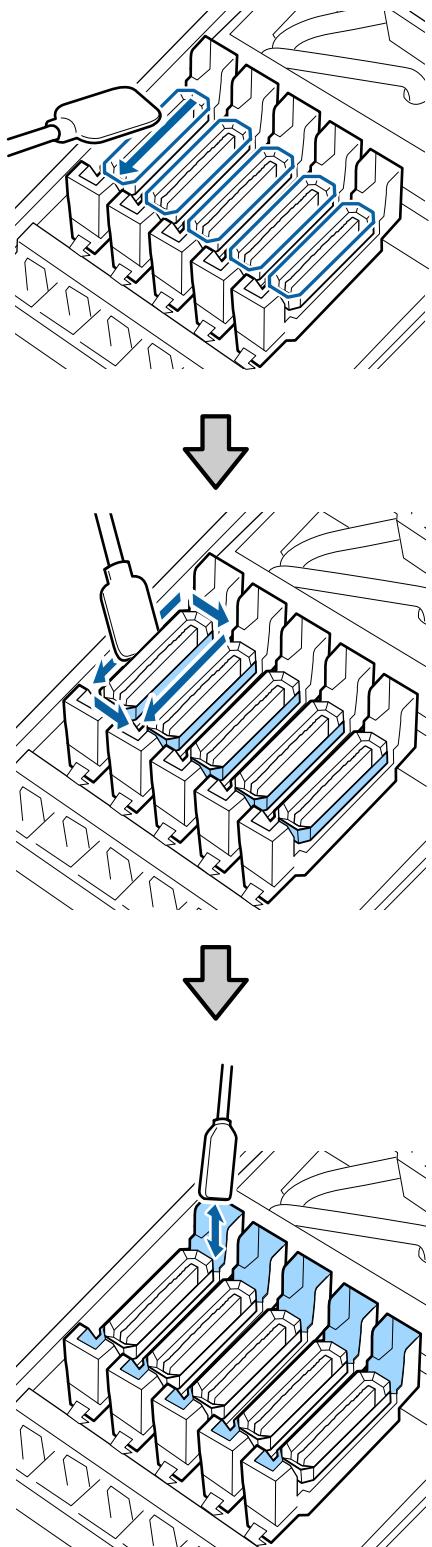
ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。



4 クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周と全てのガイド部の内側を拭き取ります。



- 5** 新品の乾いたクリーニング棒に交換し、キャップのフチ、外周、ガイド部の内側に残っている汚れやインククリーナーを全て拭き取ります。



キャップ清掃時に点検する箇所

- キャップ内側に毛羽ゴミが付着していないか。

- フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付着していないか。

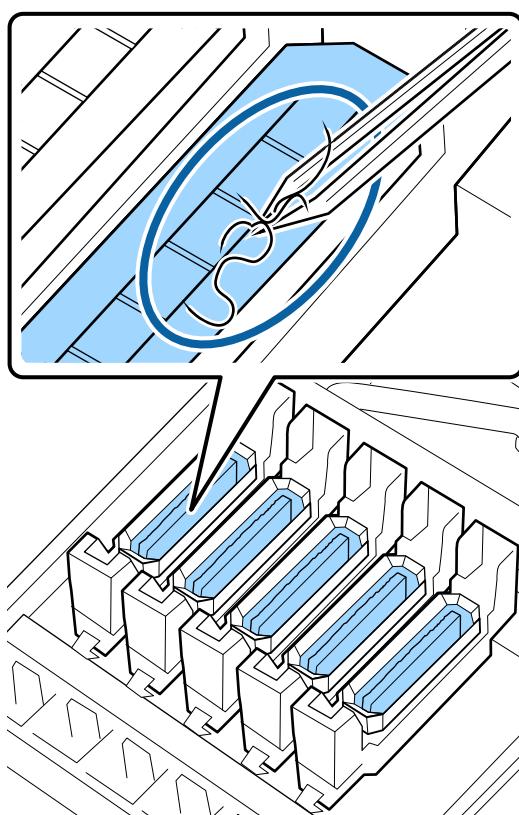
汚れていないとき：清掃終了です。

☞ 「清掃の終了」 37 ページ

汚れているとき：次項をご覧になり必要な清掃を行います。

キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

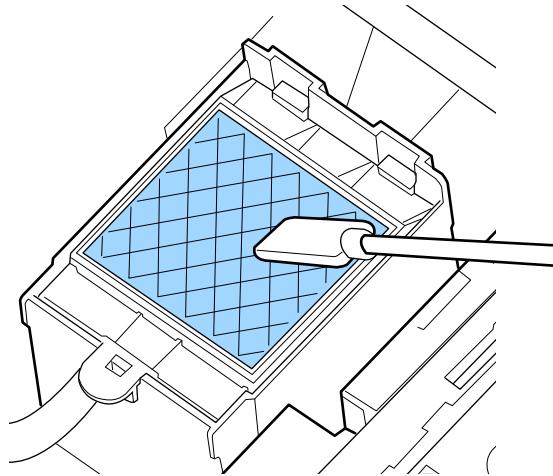
☞ 「清掃の終了」 37 ページ

フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付いているとき

クリーニング棒の先端で毛羽ゴミやホコリを取り除きます。

!重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

[「清掃の終了」 37 ページ](#)

清掃の終了

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、
【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

続いて印刷するときは、ノズルチェックを行ってください。

[『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）](#)

使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーの廃棄 [「使用済み消耗品の処分」 50 ページ](#)

インクの補充

インク補充の時期

操作パネルの画面に、[インク残量を確認してください。] とメッセージが表示されたら、速やかに、次の 2 点を対応してください。

- ・対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。
- ・インク残量を確認してインクタンクの底面から 50mm 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充を行う。

1 色でも、[チャージ時期超過] または [インク残量 限界値以下] になると印刷できません。印刷途中で、[インク残量を確認してください。] のメッセージが表示されたときは、印刷を継続しながらチップユニットの交換とインクの補充が行えます。

本機で使用できるインクパック [「メンテナンス用品のご案内」 51 ページ](#)

！重要

本機は、インク残量警告システムを搭載しています。新品のインクパックに付属のチップユニットには、インク 1 パック分の使用可能情報が登録されています。チップユニットを本機に装着すると、この情報が本機に書き込まれます。

インク残量警告システムは、本機に書き込まれたインク 1 パック分の使用可能情報とインクの使用状況からインク残量を推定して、メッセージを表示します。このシステムの正確性を維持するには、インク残量がインクタンクの底面から 50mm 以下になったら、速やかにチップユニットの交換とインクの補充を行ってください。

チップユニットのチャージと予約

チップユニットを本機に装着してインク 1 パック分の使用可能情報を書き込むことを、「チャージ」と呼びます。チャージ後は、本機に装着したチップユニットは不要になります。新品のインクパックに付属のチップユニットと交換すると、必要に応じて自動でチャージが行われます。

自動チャージのために新品のチップユニットを本機に装着しておくことを、「予約」と呼びます。

予約は、推定インク残量のインジケーターの目盛りが 6~1 の範囲なら、いつでも行えます。

なお予約中は、推定インク残量が少なくなったときの警告が表示されません。インクがインクタンクの底面から 50mm 以下になっていたら、インク 1 パックを補充してください。

チップユニットの交換方法は、「インク補充の手順」の手順 2~6 をご覧ください。

[「インク補充の手順」 38 ページ](#)

予約中かどうかは、チップユニットの状態アイコンで確認できます。

[『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）](#)

インク補充時のご注意

作業の前に製品安全データシートをお読みください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページから入手できます。

www.epson.jp

⚠ 注意

インクを補充するときは、以下の点に注意して作業してください。

- ・インクパックのそぞぎ口はゆっくり切り取ってください。勢いよく切り取ると、インクが飛び散ることがあります。
- ・開封後のインクパックは強く持たないでください。インクが飛び出るおそれがあります。
- ・インクをインクタンクに注ぐ際は、インクパックをゆっくり傾けて注いでください。

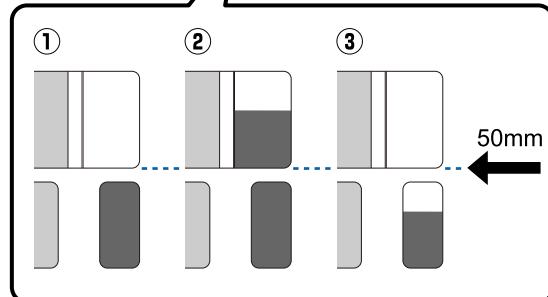
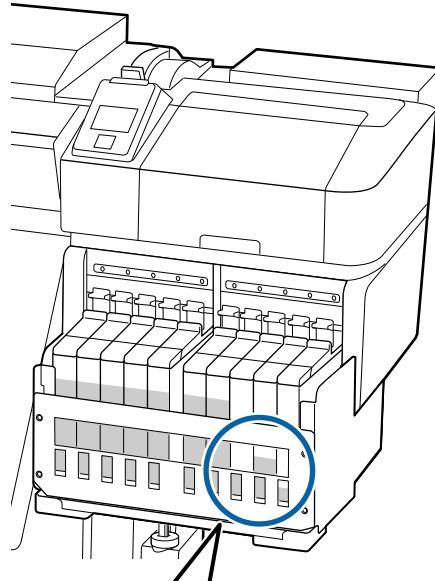
! 重要

- ・プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- ・指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
☞ 「メンテナンス用品のご案内」 51 ページ
- ・インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☞ 裏表紙

インク補充の手順

1

操作パネルの画面に【インク残量を確認してください。】と表示されたら、インクタンクのインク残量を確認します。



① インク残量がインクタンクの底面から 50mm 以下になっている。

インクを補充できます。

操作パネルのチップユニットの状態が予約中のときは手順 7 に進んでください。予約されていないときは手順 2 に進んでください。

② インク残量がインクタンクの底面から 50mm の位置よりも多い。

新品のインクパックの全量をインクタンクに補充できません。

インク残量が 50 mm になるまで使い続けてください。

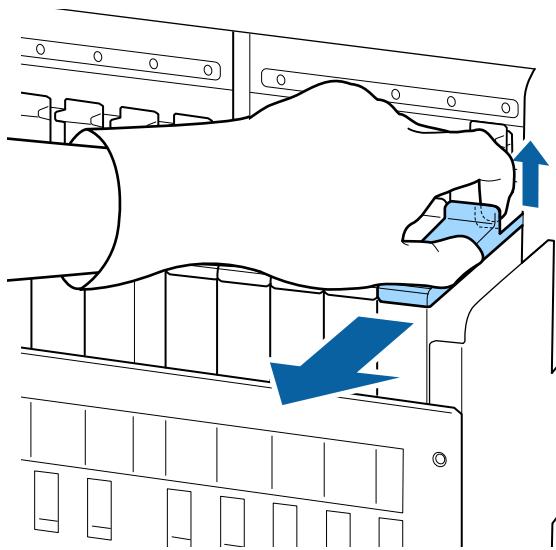
③ インク残量が穴の上辺よりも下がっている。

ただちにインクを補充してください。
インク残量が穴の上辺よりも下がると、インク残量が限界値以下となり印刷が停止することがあります。
操作パネルのチップユニットの状態が予約中のときは手順 7 に進んでください。予約されていないときは手順 2 に進んでください。

！重要

インク残量がインクタンクの底面から 50mm よりも多い状態で、[インク残量 限界値以下] と表示されるときは、インクタンクの交換時期です。インクタンクを交換してください。交換修理は、有償となります。
交換修理時には、インクタンク内のインクは廃棄します。これは、インクタンク内のインクに細かい塵やホコリなどの異物が混入されたことが、インクタンク不具合の原因となっているためです。
インクタンク交換に至る期間は、使用環境や使用状況により異なります。
交換修理は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

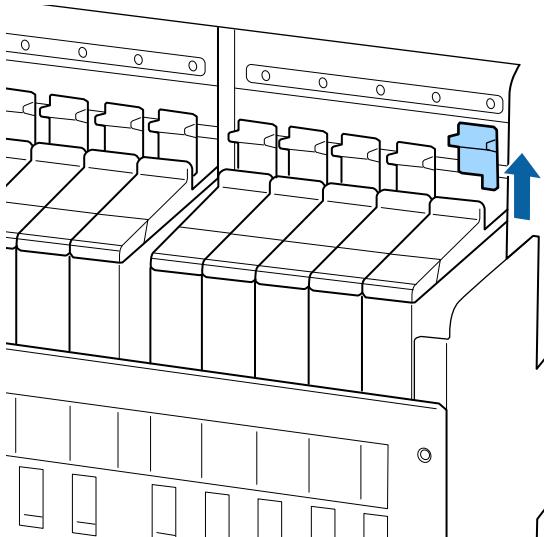
3 スライダー上部のくぼみに指をかけて、まっすぐ引き抜きます。



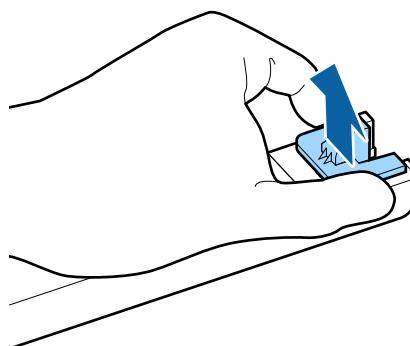
！重要

スライダーは傾けないでください。チップユニットが落下すると破損の原因となります。

2 チップユニットを交換するスライダーのロックバーを引き上げます。

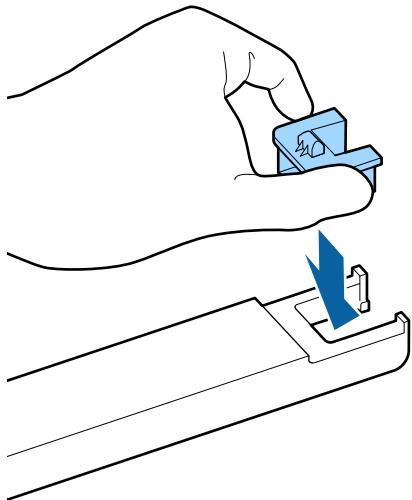


4 スライダーからチップユニットを取り外します。

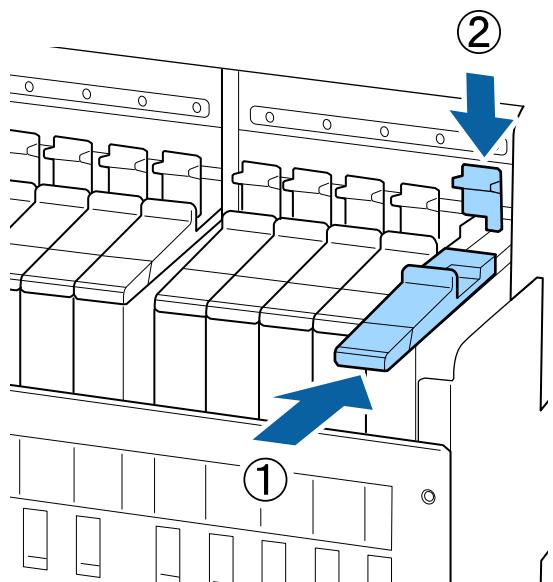


5 新品のインクパックに付属のチップユニットを取り付けます。

取り付け時は、スライダーとチップユニットのラベルの色が一致していることを確認してください。



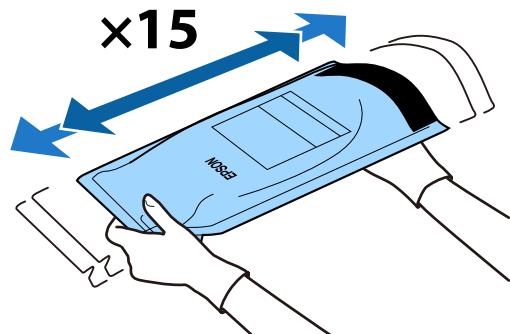
6 スライダーを水平に持って挿入し、ロックレバーを下げます。



!重要

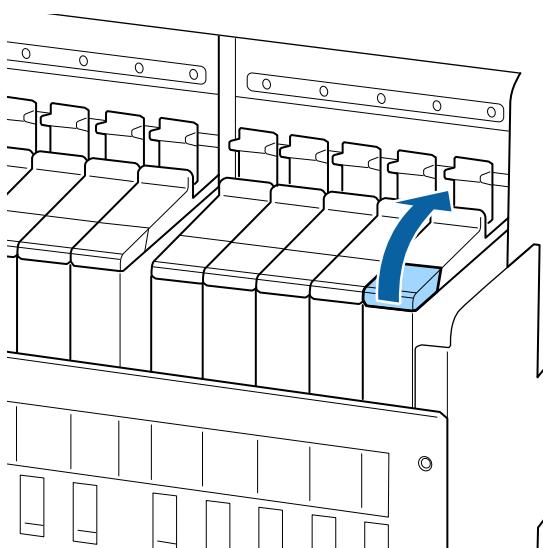
スライダーを勢いよく押し込まないでください。
故障の原因となります。

7 新しいインクパックを図のように水平方向に両側約5cmの振り幅で5秒間に15回程度よく振ります。



8 操作パネルの画面にエラーや警告が表示されていないことを確認してからスライダーの注入口カバーを開けます。

エラーや警告が表示されたときは、メッセージに従ってエラー/警告の対応後に以降の作業に進んでください。



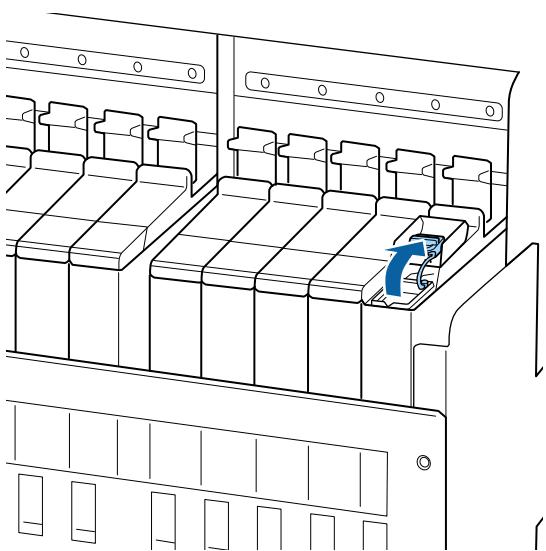
9 インクタンクの注入口キャップを外します。

補充するインクの種類によって注入口キャップの外し方が異なります。

!重要

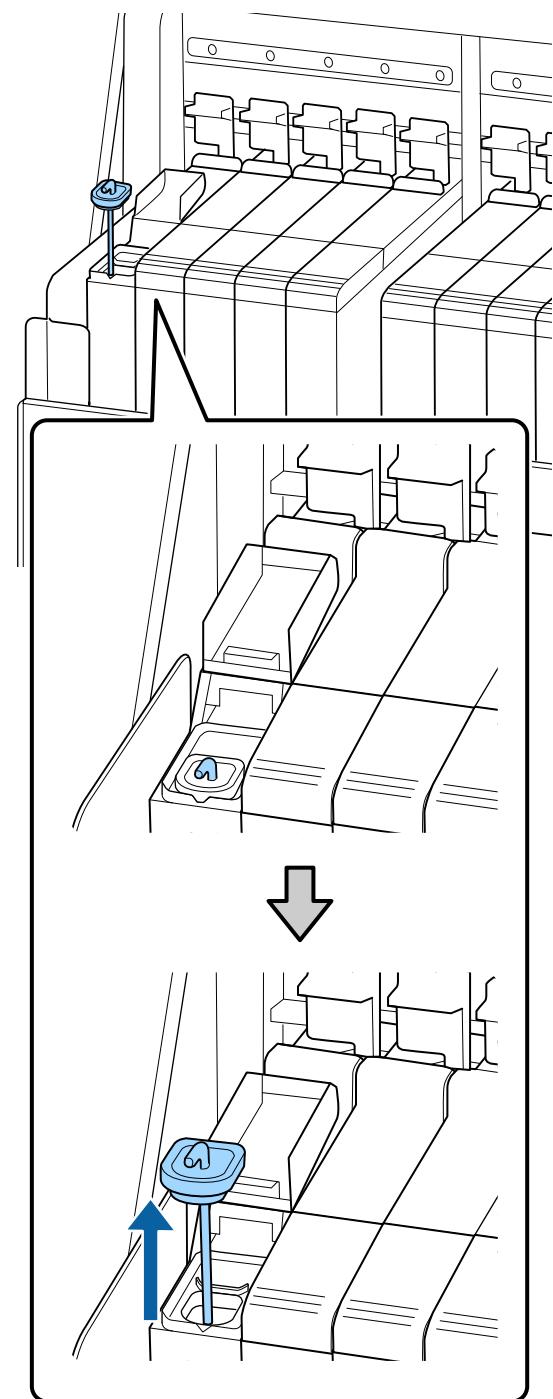
注入口キャップをゆっくり外してください。勢いよくキャップを外すとインクが飛び散ることがあります。

高濃度ブラックインク、蛍光インク以外

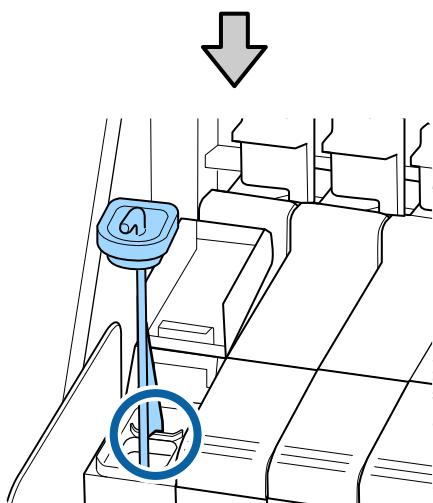
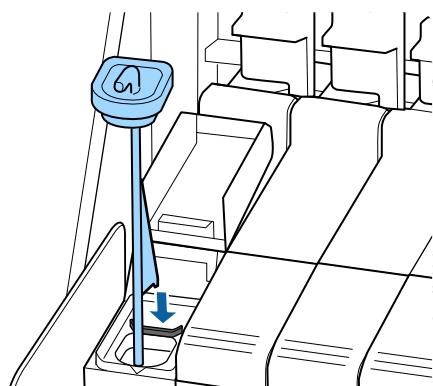


高濃度ブラックインク、蛍光インク

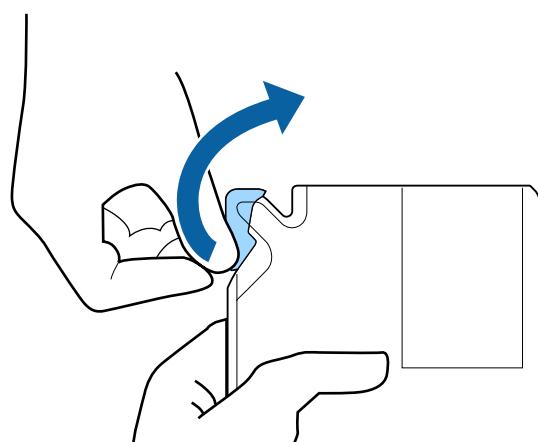
- ① 注入口キャップの突起部分をつまんで持ち上げます。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。



② かくはん棒をインクタンクに引っかけます。

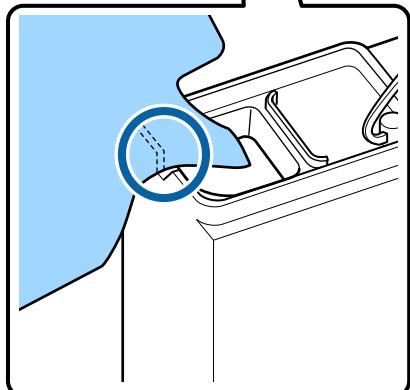
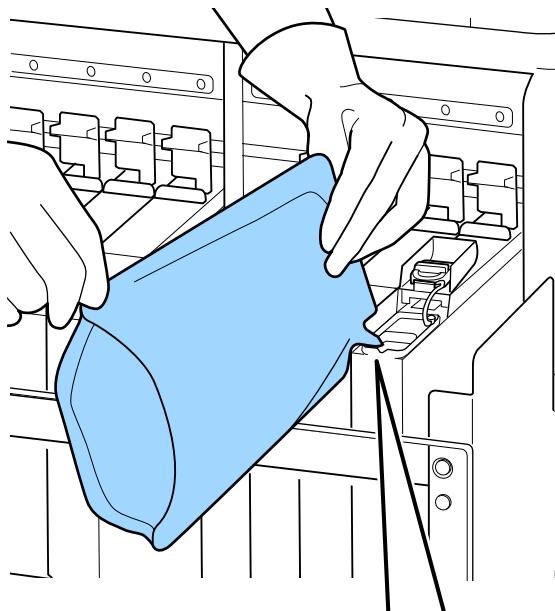


10 インクパックのそぞぎ口を切り取ります。



11 インクタンクにインクパックのインクを補充します。

インクパックのそぞぎ口をインクタンク注入口の溝に当ててゆっくりと傾けてください。



！重要

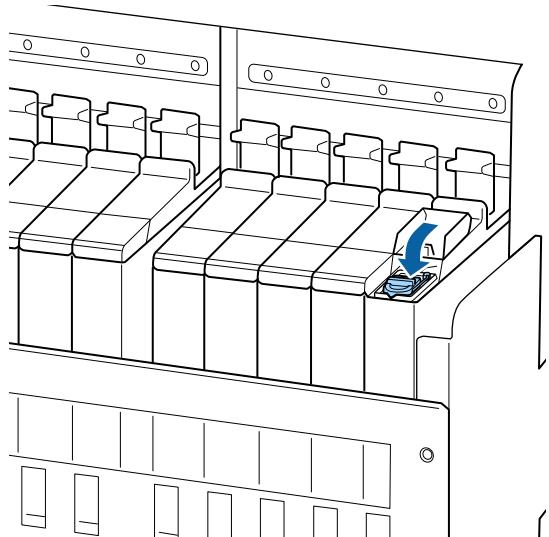
インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってください。

インクパックのインクは、複数のインクタンクに注ぎ分けないでください。

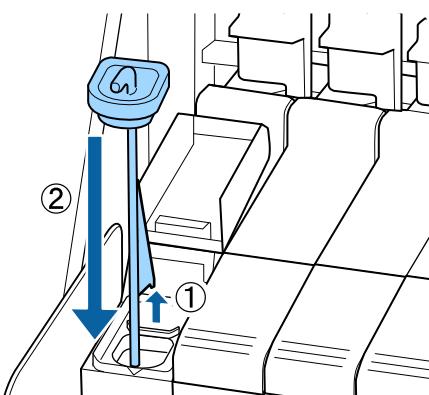
インク残量警告システムのメッセージが適切に表示されない原因となります。

- 12** インクタンクに注入口キャップを付けます。
インクの種類によって注入口キャップの付け方が異なります。

高濃度ブラックインク、蛍光インク以外



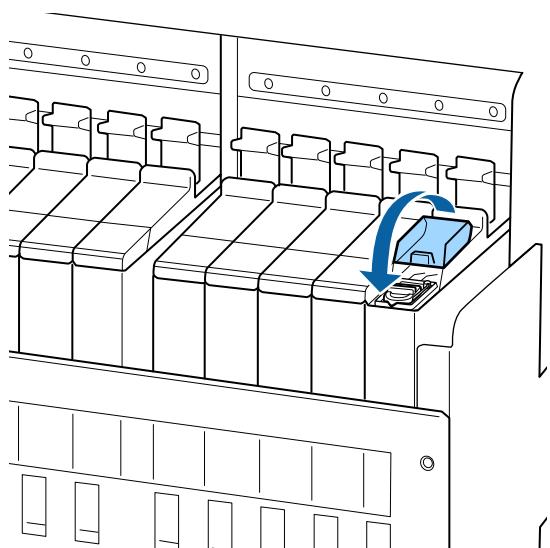
高濃度ブラックインク、蛍光インク



!重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでください。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと接触すると破損することがあります。

- 13** スライダーの注入口カバーを閉めます。



インク補充時に遮熱板が汚れたときは、遮熱板を取り外して清掃してください。

☞『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

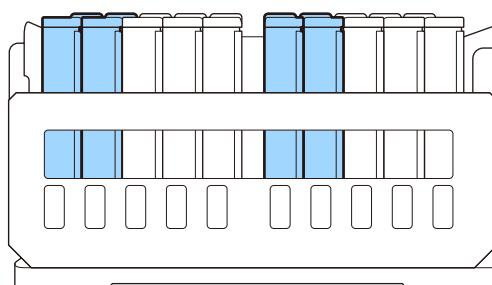
使用済みインクパックとチップユニットの廃棄

☞「廃棄」50ページ

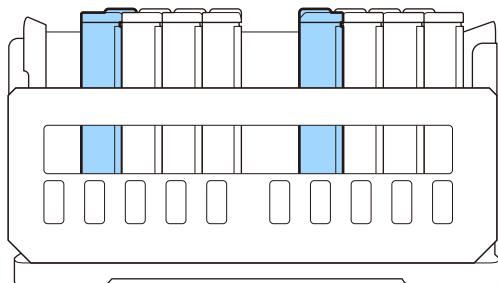
高濃度ブラックインク、蛍光インクのかくはん手順

高濃度ブラックインク、蛍光インクは沈降しやすい特性があります。1週間に1度、以下のインクをかくはんしてください。沈降したまま使用すると印刷結果の色味が変わることがあります。

• SC-F9450H : HDK、FY、FP

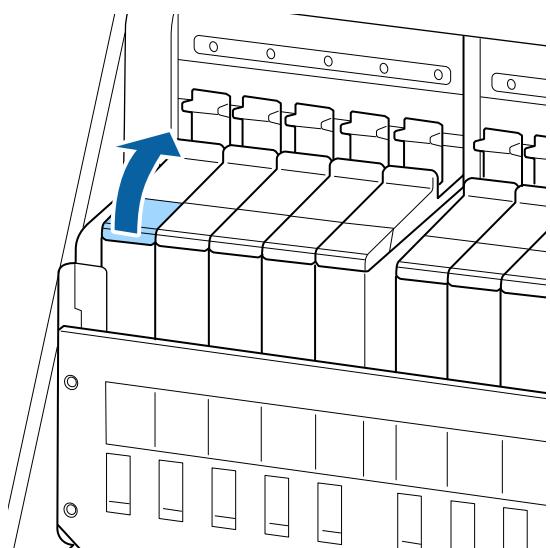


- SC-F9450 : HDK



かくはんは、本機の電源の状態や印刷中に関わらず、いつでも行なうことができます。
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
[☞「作業時のご注意」30ページ](#)

1 かくはんするインクのスライダーの注入口カバーを開けます。

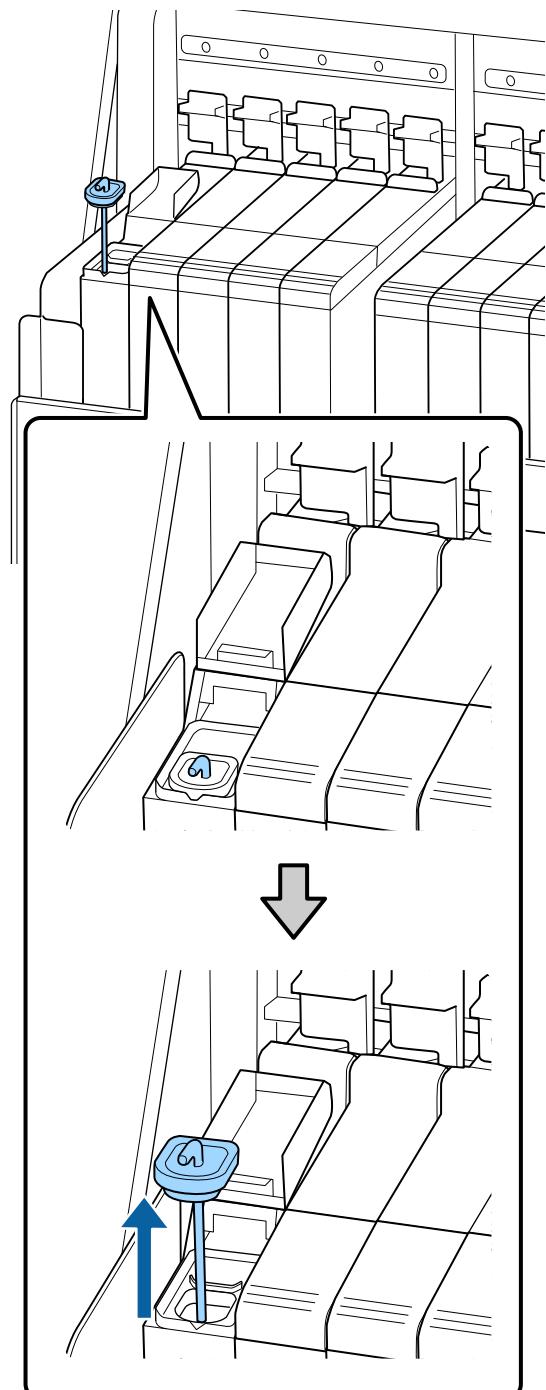


2 インクタンクの注入口キャップを外します。

注入口キャップの突起部分をつまんで持ち上げます。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。

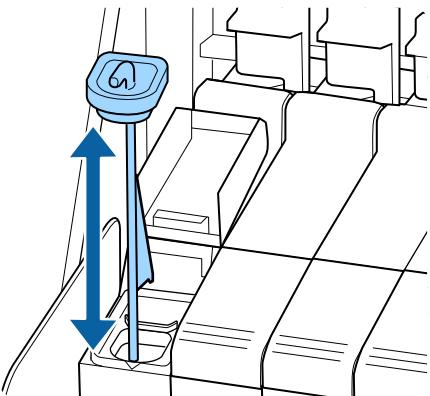
!重要

注入口キャップはゆっくり外してください。勢いよくキャップを外すとインクが飛び散ることがあります。



3 かくはん棒を、1秒間に上下に1往復する動作を15回程度繰り返します。

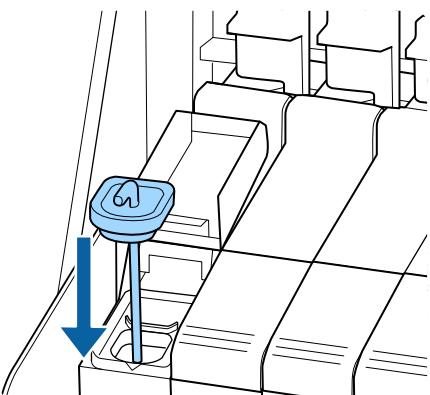
上下動作はかくはん棒の引っかけ部が完全に見えるまで引き上げ、注入口キャップがインクタンクに付くまで下げてください。



!重要

かくはん棒はゆっくり動かしてください。勢いよく動かすと、インクが飛び散ることがあります。

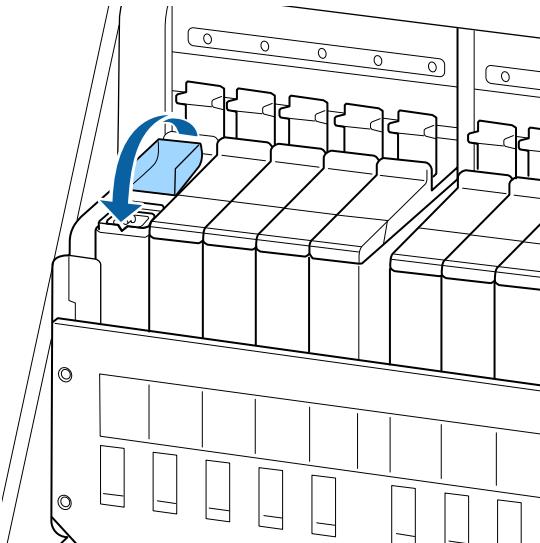
4 インクタンクに注入口キャップを付けます。



!重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでください。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと接触すると破損することがあります。

5 注入口カバーを閉めます。



廃インク処理

準備と交換時期

【空の廃インクボトルを準備してください。】と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼動などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから【廃インクボトル交換】を実施して交換作業を行ってください。【廃インクボトル交換】を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細 [『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）](#)

廃インクカウンター [『廃インクカウンターについて』 46 ページ](#)

!重要

印刷中やヘッドクリーニング実行中は、画面に指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れことがあります。

【空の廃インクボトルと交換して、OKを押してください。】と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 [『廃インクボトルの交換』 46 ページ](#)

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。[空の廃インクボトルと交換して、OKを押してください。] のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの【廃インクボトル交換】を実行してください。

『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

!重要

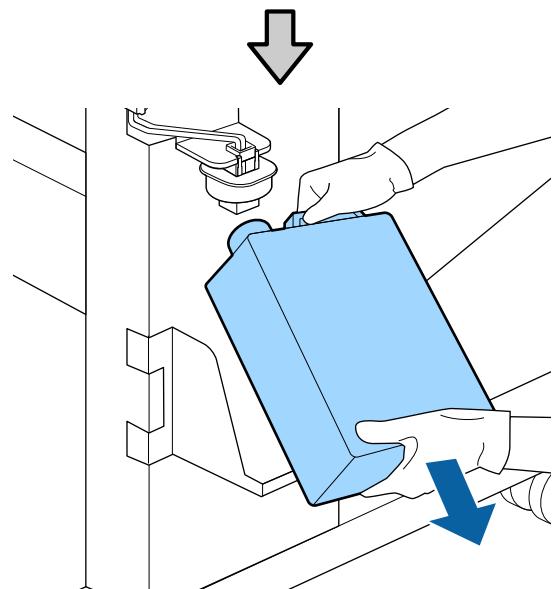
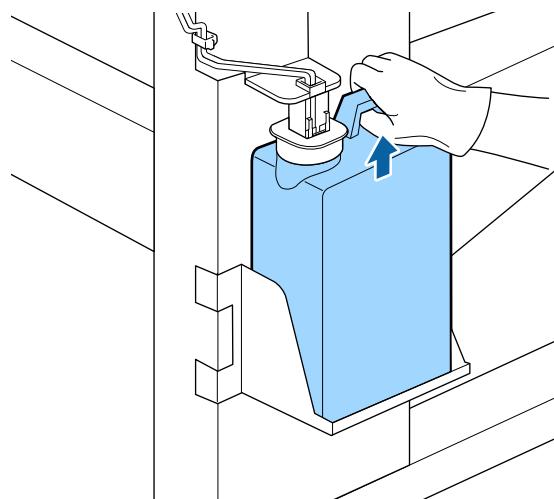
メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

「作業時のご注意」30ページ

- 1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。



ストッパーの裏側が汚れているときは、拭いてください。

- 2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

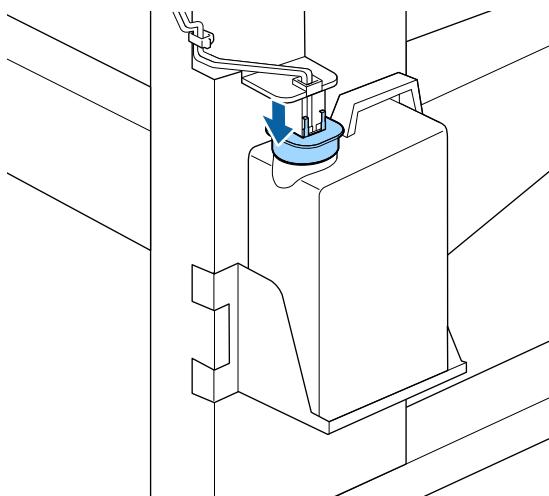
!重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

参考

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそぞぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて保管してください。

3 スッパーを下げます。**!重要**

スッパーをボトルの口に密着させてください。隙間があると、廃インクが飛び散り、周囲が汚れることがあります。

4 【OK】ボタンを押します。**5** 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄 [「廃棄」](#)

[50 ページ](#)

ヘッドクリーニングセットの交換

準備と交換時期

【ヘッドクリーニングセットの交換時期が近づきました】と表示されたとき

直ちに新しいヘッドクリーニングセットを手元に用意してください。

夜間稼動などのため、この段階で交換するときは、設定メニューから【ヘッドクリーニングセット交換】を実施して交換作業を行ってください。【ヘッドクリーニングセット交換】を実施せずに交換すると、ヘッドクリーニングセットカウンターが正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細 [『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）](#)

!重要

ヘッドクリーニングセットカウンターについて

本機は、ヘッドクリーニングセットカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

【ヘッドクリーニングセット交換時期】のメッセージに従って新しいヘッドクリーニングセットと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューから【ヘッドクリーニングセット交換】を実行してください。

設定メニューの詳細 [『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）](#)

[ヘッドクリーニングセット交換時期] と表示されたとき

次項をご覧になり、ヘッドクリーニングセットに付属のパーツを一括して交換してください。交換しないと印刷できません。

ヘッドクリーニングセットには、以下のパーツが入っています。

- ・ワイパユニット (1 個)
- ・フラッシング用吸収材 (1 個)
- ・手袋 (2 枚)

交換用のヘッドクリーニングセットは、必ず本機専用のものをお選びください。

[「メンテナンス用品のご案内」51 ページ](#)

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[「作業時のご注意」30 ページ](#)

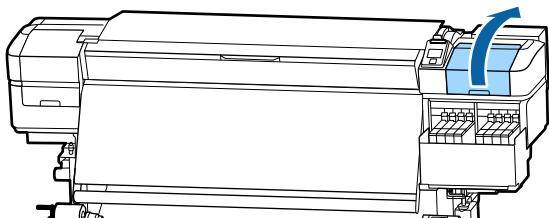
ヘッドクリーニングセットの交換方法

1 [ヘッドクリーニングセット交換時期] の画面で【OK】ボタンを押します。

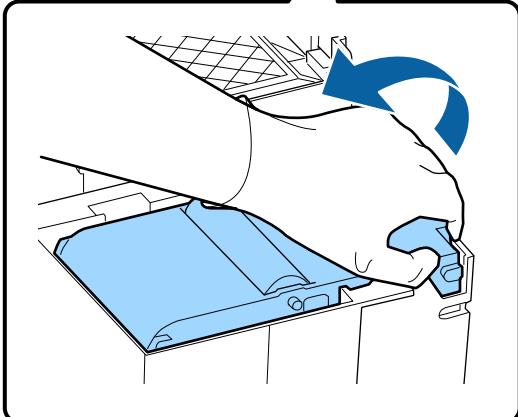
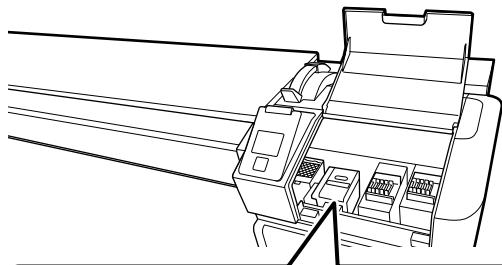
2 確認のメッセージが2回表示されます。

1画面ずつ内容をよく確認して【OK】ボタンを押します。

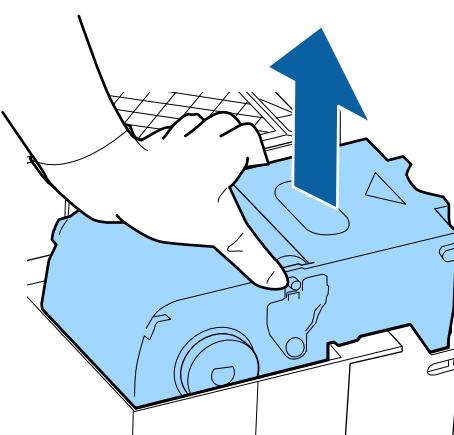
3 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。



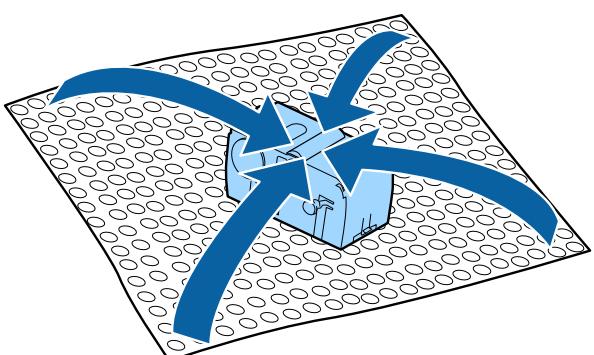
4 ワイパユニットの奥のくぼみに指を掛けて、少し手前に引き上げます。



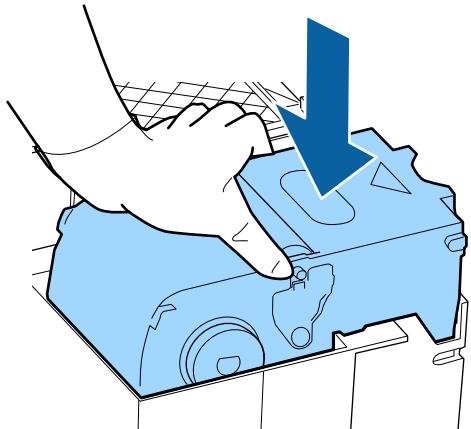
5 まっすぐに持ち上げて取り外します。



6 使用済みのワイパユニットは、インクが周りに付かないように、新品のワイパユニットを包んでいた緩衝材で包みます。

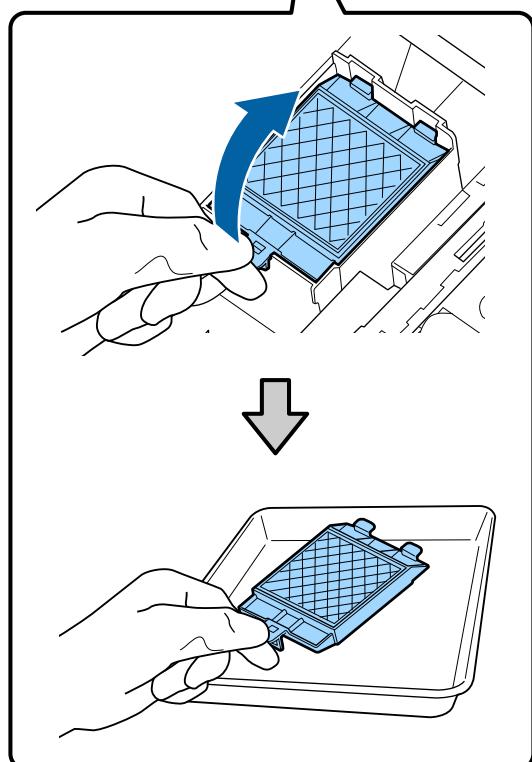
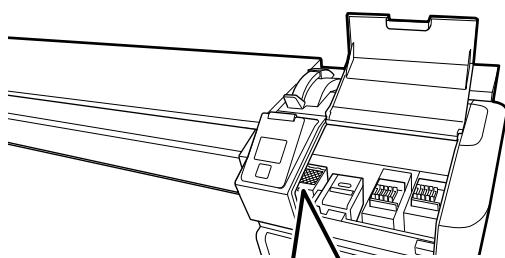


- 7** 新品のワイパユニットを取り付けます。
取り付け部に載せて、カチッと音がするまで押し込みます。

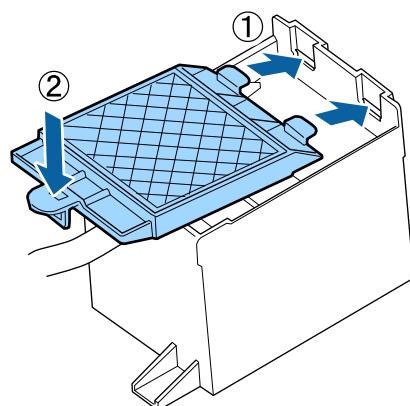


- 8** ワイパユニットの交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

- 9** フラッシング用吸収材は、つまみを持って引き上げて取り外します。
取り外したフラッシング用吸収材は、金属トレイに載せてください。



- 10** 新品のフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。



11 フラッシング用吸収材の交換が終了したら、
【OK】ボタンを押します。

12 メンテナンスカバーを閉めて【OK】ボタンを押
します。

13 画面に確認のメッセージが表示されます。内容を
確認して、[はい]を選択し【OK】ボタンを押し
ます。

使用済みヘッドクリーニングセットの廃棄 [「廃棄」](#)
[50 ページ](#)

使用済み消耗品の処分

廃棄

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- ・インクパック
- ・チップユニット
- ・クリーニング棒
- ・クリーンルーム用ワイパー
- ・インククリーナー
- ・廃インク
- ・廃インクボトル
- ・ワイパーアニット
- ・フラッシング用吸収材
- ・印刷後のメディア

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令
に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。
製品安全データシートは、エプソンのホームページ
(www.epson.jp) からダウンロードできます。

メンテナンス用品のご案内

最新の情報は、エプソンのホームページ（www.epson.jp）をご覧ください。（2019年11月現在）

インクパック

プリンター型番	商品名	型番
SC-F9450H	インクパック	高濃度ブラック
		SC20HDKP
		シアン
		SC20CP
		マゼンタ
		SC20MP
SC-F9450	インクパック	イエロー
		SC20YP
		蛍光ピンク
		SC20FPP
		蛍光イエロー
		SC20FYP
		高濃度ブラック
		SC20HDKP
		シアン
		SC20CP
		マゼンタ
		SC20MP
		イエロー
		SC20YP

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

その他

商品名	型番	備考
ヘッドクリーニングセット	SC5HCS	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 <ul style="list-style-type: none">• ワイバーユニット（1個）• フラッシング用吸収材（1個）• 手袋（2枚）
メンテナンスキット	SC5MKIT3	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 <ul style="list-style-type: none">• インククリーナー（1個）• カップ（1個）• 手袋（12枚）• クリーニング棒（25本）
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。

メンテナンス用品のご案内

商品名	型番	備考
クリーニング棒	SC2CS	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	

インクのボタ落ちやノズル目詰まりの対処方法

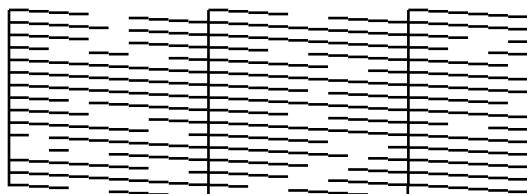
現象

印刷結果に以下の状態が生じたら、以降の対処を行ってください。

インクのボタ落ち



ノズルが目詰まりする



対処

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処を実施してください。

1. ヘッドクリーニングの実施

☞ 「ヘッドクリーニング」 53 ページ



2. 自動ヘッドメンテナンスの実施

☞ 「自動ヘッドメンテナンス」 54 ページ



3. 定期清掃の実施

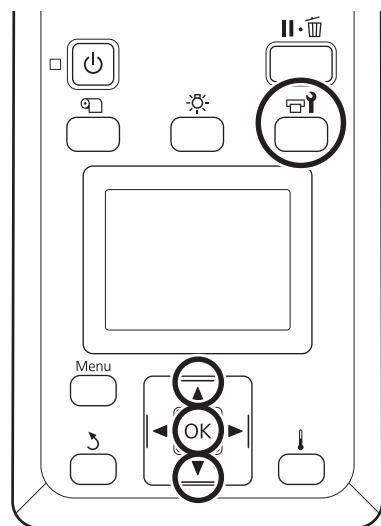
☞ 「定期清掃の仕方」 32 ページ

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングには、[クリーニング (弱)] [クリーニング (強)] と 2 段階のレベルがあります。

最初は、[クリーニング (弱)] を実施してください。実施後チェックパターンを印刷してかすれや欠けがあるときは [クリーニング (強)] を実施してください。

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認して 【□】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して [クリーニング] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

3 クリーニングのレベルを選択して 【OK】 ボタンを押します。

最初は、[クリーニング (弱)] を選択します。

2 回目、3 回目は、[クリーニング (強)] を選択します。

4 クリーニングを行うノズル列の指定方法を選択します。

全列クリーニング

印刷されたチェックパターンの全てにかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

クリーニングする列を選択

印刷されたチェックパターンで特定の番号（ノズル列）のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

5 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- (1) 【▼】 / 【▲】ボタンを押してかすれや欠けがあるチェックパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押します。
- (2) ヘッドクリーニングするノズル列を全て選び終わったら【選択を決定し実行】を選択して【OK】ボタンを押します。

6 ヘッドクリーニングが開始されます。

ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。

参考

室温が低いと終了までに時間がかかることがあります。

7 チェックパターンを印刷して目詰まりを確認するときは、【▼】 / 【▲】ボタンを押して【ノズルチェック】を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでにチェックパターンを印刷したメディアの余白にチェックパターンを印刷するときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位置にくるまで【▲】ボタンを押してメディアを戻してください。

8 任意の印刷位置を選択して【OK】ボタンを押します。

一度チェックパターンを印刷した余白に並べて印刷するときは【印刷位置（中央）】か【印刷位置（左）】を選択します。セットしているメディア幅によって、表示される内容が変わります。

【OK】ボタンを押すとチェックパターンの印刷が始まります。

9 必要に応じてメディアをカットして印刷されたチェックパターンを確認します。

かすれや欠けがないとき

通常の作業を再開してください。

かすれや欠けがあるとき

手順1に戻ってクリーニング（強）を実施します。

【クリーニング（強）】を2回実施してもノズルの目詰まりが解消されないとき

プリントヘッド周辺が汚れているおそれがあります。次項の【自動ヘッドメンテナンス】を実施してください。

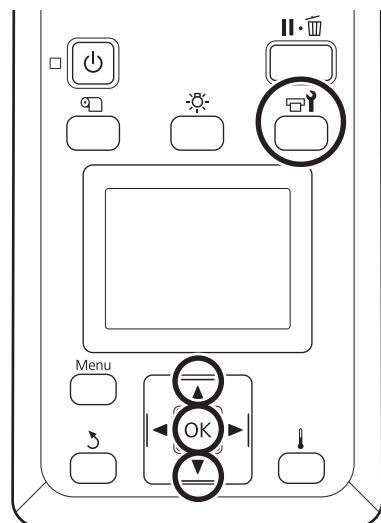
自動ヘッドメンテナンス

自動ヘッドメンテナンスは、ヘッドクリーニングを実施してもインクのボタ落ちやノズルの目詰まりが解消されないときに実施します。

！重要

自動ヘッドメンテナンスは、1日に何度も行わないでください。頻繁に行なうと、プリントヘッドを傷めます。

以下の操作で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認して【OK】ボタンを押します。

メンテナンスマニュアルが表示されます。

2 【▼】 / 【▲】ボタンを押して【ヘッドメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【自動ヘッドメンテナンス】が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。

4 【OK】ボタンを押します。

自動ヘッドメンテナンスが開始されます。
自動ヘッドメンテナンスが終了すると、設定メニュー
が終了します。

参考

室温が低いと終了までに時間がかかることがあります。

自動ヘッドメンテナンスを行ってもインクのボタ落ちや
ノズルの目詰まりが解消されないときは、プリントヘッ
ドやキャップ周辺の清掃を行います。

[☞ 「定期清掃の仕方」32 ページ](#)

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただか、各○印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報を届けたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2018.04